

医師の勤務実態について

令和元年 医師の勤務実態調査

- 「令和元年 医師の勤務実態調査」（令和元年度厚生労働科学研究「医師の専門性を考慮した勤務実態を踏まえた需給等に関する研究」）結果をもとに、以前「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」）結果をもとに医政局医事課にて作成した集計項目を踏まえて、集計を行ったものである。
- 平成28年調査の集計結果については、「医師の働き方改革に関する検討会」において公表されている。
（第1回（H29/8/2）資料3，第2回（H29/9/21）資料3，第9回（H30/9/3）資料4，第16回（H31/1/11）資料3，第19回（H31/2/20）資料2）

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間

スライド5：性別分布【スライド31／第1回資料3】
スライド6：性・年代別平均【スライド32／第1回資料3】
スライド7：性・年代別分布【スライド33／第1回資料3】
スライド8：性・家族構成別分布【スライド34／第1回資料3】
スライド9：性・子どもの有無・年代別平均【スライド35／第2回資料3】
スライド10：診療科別平均・診療科別分布【スライド36／第1回資料3】
スライド11：病院種別（全体・救急病院・大学病院）<New>
【※救急病院のみ スライド37／第19回資料2】

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間の内訳

スライド12：勤務時間区分別（時間・割合）【スライド38／第2回資料3】
スライド13：診療科別（時間）【スライド39／第2回資料3】
スライド14：診療科別（割合）【スライド39／第2回資料3】
スライド15：病院種別（全体・救急・大学）【スライド40／第2回資料3】
スライド16：大学病院常勤勤務医・診療科別 <New>
スライド17：研究・教育・研鑽その他の時間 <New>
スライド18：都市部／地方部別・年代別【スライド41／第2回資料3】

月当たり当直回数と当直回数別の勤務時間の内訳

スライド19：病院・常勤勤務医の月当たり宿直回数の割合と宿直回数別勤務時間内訳【スライド42／第2回資料3】

週当たり勤務時間が60時間以上の病院・常勤勤務医の割合

スライド20：性・年代別【スライド43／第2回資料3】
スライド21：診療科別【スライド44／第2回資料3】
スライド22：診療科・病院種別 <New>

週当たり勤務時間が80時間以上の医師がいる病院の割合

スライド23：週勤務時間が80時間を超える働き方の医師がいる病院【スライド45／第16回資料3】

時間外労働年1860時間換算以上の医師の割合

スライド24：診療科別・年代別【スライド46／第19回資料2】

副業・兼業

スライド25：兼業医療機関数（全体・大学病院・大学病院以外）と勤務時間 <New>
スライド26：主たる勤務先と兼業先の勤務時間（全体・大学病院・大学病院以外） <New>
スライド27：主たる勤務先と兼業先の勤務時間（大学病院） <New>
スライド28：大学病院常勤勤務医の勤務時間区分別兼業先の勤務時間 <New>

調査概要

1. 目的

2024年4月の医師に対する時間外労働上限規制適用前においても、医師の時間外労働の状況やその分布等の実態把握は不可欠であることから、平成28年に実施した厚生労働科学特別研究事業である「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究（研究代表者：井元清哉）」と同等規模の勤務実態調査を行う。

2. 研究班

研究課題名：「医師の専門性を考慮した勤務実態を踏まえた需給等に関する研究」

研究代表者：小池 創一（自治医科大学 地域医療学センター 教授）

研究分担者：松田 晋哉（産業医科大学 公衆衛生学教室 教授）

松本 正俊（広島大学 医学部 教授）

今中 雄一（京都大学大学院 医学系研究科 教授）

康永 秀生（東京大学大学院 医学系研究科 教授）

堀口 裕正（国立病院機構 総合研究センター診療情報分析部 副部長）

◎谷川 武（順天堂大学大学院 医学系研究科 教授）【調査担当】

3. 調査期間

令和元年9月2日（月）～8日（日）

4. 調査対象

【施設調査票】 配布施設19,112施設（前回調査（H28）12,035施設）

【医師調査票】 紙媒体配布部数141,880部（前回調査（H28）149,112部）

webでも回答できるようなページを作成し、周知。

5. 調査内容

性別・年齢・診療科・主たる勤務先種別毎の医師の1週間の労働時間（診療、診療外の別を含む）、タスク・シフト/シェアの取り組み状況等の調査を行った。

5. 回収数

【施設票】 3,967施設（回収率20.8%）

【医師票】 20,382人（WEB回答者含む）

分析対象とする病院・常勤勤務医のデータについて

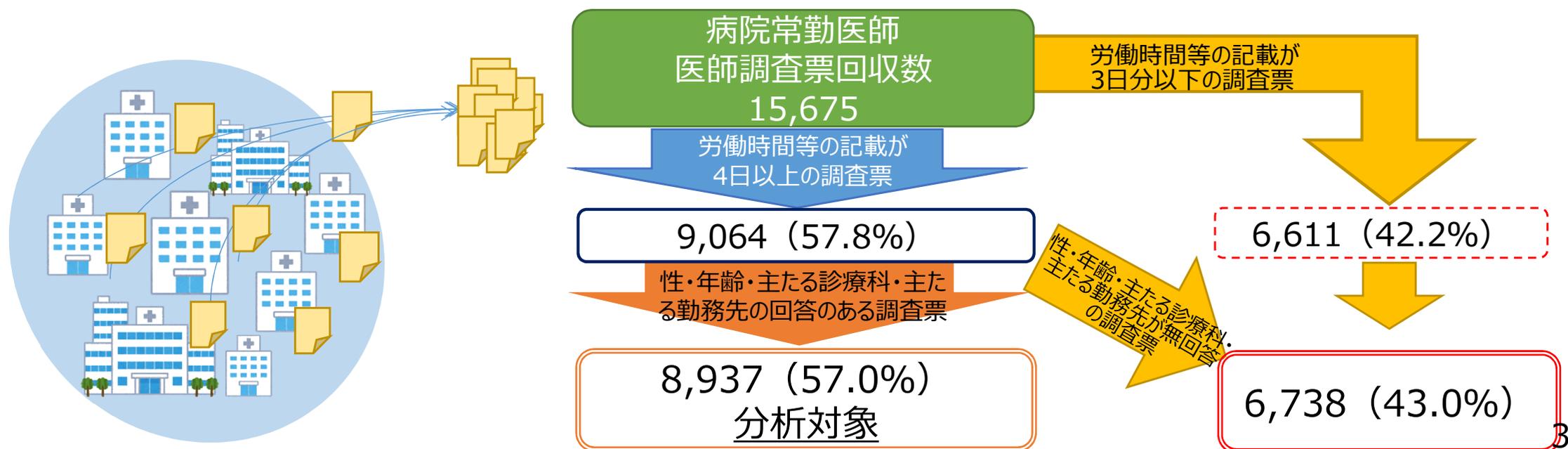
○ 本調査は病院勤務医の長時間労働の実態を把握することが主たる目的の調査であり、H28前回調査との比較を試みる必要もあることから、週4日以上働いている病院勤務医のデータについて分析を行う。なお、H28前回調査と同様、兼業先の労働時間も含めて調査を行っている。

※1 労働時間等調査項目において、7日間完遂せず、記載途中で終了したものが多い

※2 週32時間以上働く常勤医師（*）は、1日8時間労働で最低4日は出勤していると考えられることから、労働時間等調査項目に3日以上無記載の調査票を、記入を完遂していないとみなし、4日以上記載された調査票を分析対象とする

※3 性・年齢・主たる診療科・主たる勤務先が無回答の調査票もあり、これらは分析が困難である

* 常勤医師の定義：医療法第25条第1項の規定に基づく立ち入り検査において常勤医師は週32時間以上働いている医師と定義



- 分析対象とする病院勤務医のデータについて、H30三師統計と比較すると、年齢・診療科・勤務医療機関による回答者数のばらつきがある。

上記を踏まえ、

- 診療科の医師数（診療科内の性、年齢）調整
- 勤務医療機関別の医師数（診療科別の大学病院、大学病院以外）調整

が、必要。

今回調査では、医療機関における宿日直許可取得の有無も設問に含めており、より精緻に労働時間を捉えるため、

- 宿日直許可を得ている医療機関に勤務する医師の宿直・日直勤務中の待機時間を労働時間から除外

する。

今回調査の分析対象調査票（回答者）の診療科別、性・年齢・勤務医療機関の構成が、「H30三師統計」の構成と同様になるように調整を行った。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間：性別分布

- 病院・常勤勤務医の勤務時間（診療時間＋診療外時間（指示なしを除く）＋宿直・日直中の待機時間※ は、男性は41%、女性は28%の医師が週60時間以上である。
- 平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」と比較して、週60時間以上勤務する医師の割合は男性・女性ともに変化はないが、週80時間以上勤務する医師の割合は、男性・女性ともに減少している（H28 男性11%、女性7%）。



※ 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間：性・年代別平均

- 病院・常勤勤務医の勤務時間（診療時間＋診療外時間（指示なしを除く）＋宿直・日直中の待機時間※）については、男性は年代が上がるにつれて減少する一方、女性は50代で増加して二峰性となる。
- 平成28年調査と比較し、全世代平均勤務時間は男性は減少しているが、女性は増加している。また、世代別勤務時間は男性・女性ともに20代～40代で減少し、50代・60代以上で増加している。

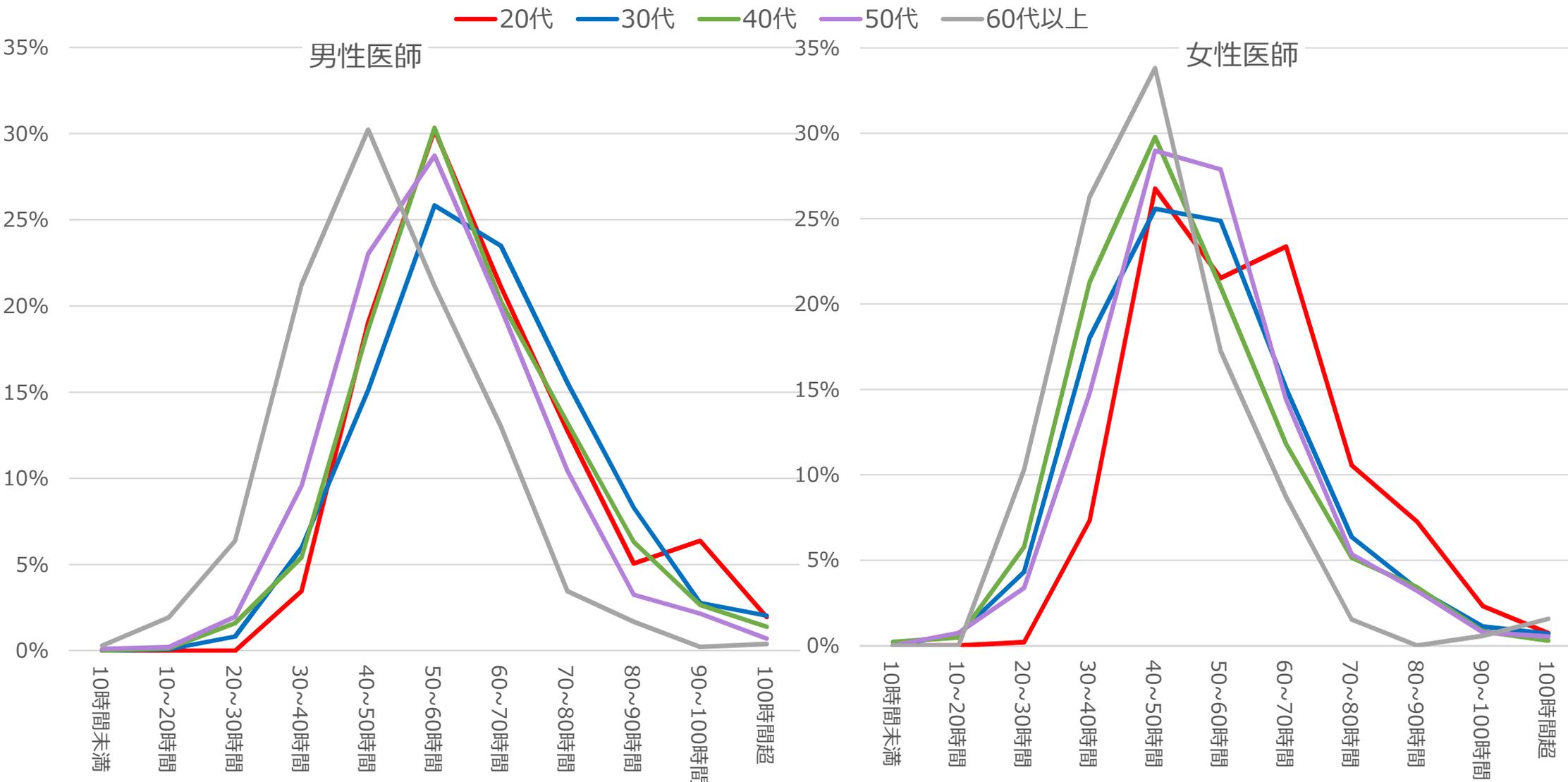
週当たり 勤務時間	男性医師		女性医師	
20代	61時間34分	(-3時間25分)	58時間20分	(-52分)
30代	61時間54分	(-1時間57分)	51時間42分	(-31分)
40代	59時間34分	(-1時間32分)	49時間15分	(-5分)
50代	56時間16分	(+48分)	51時間32分	(+1時間27分)
60代以上	47時間20分	(+2時間3分)	44時間44分	(+2時間5分)
全年代平均	57時間35分	(-24分)	52時間16分	(+44分)

※ 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

※※ 表中の（ ）は、平成28年調査結果と比較した増減時間を示す。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間：性・年代別分布

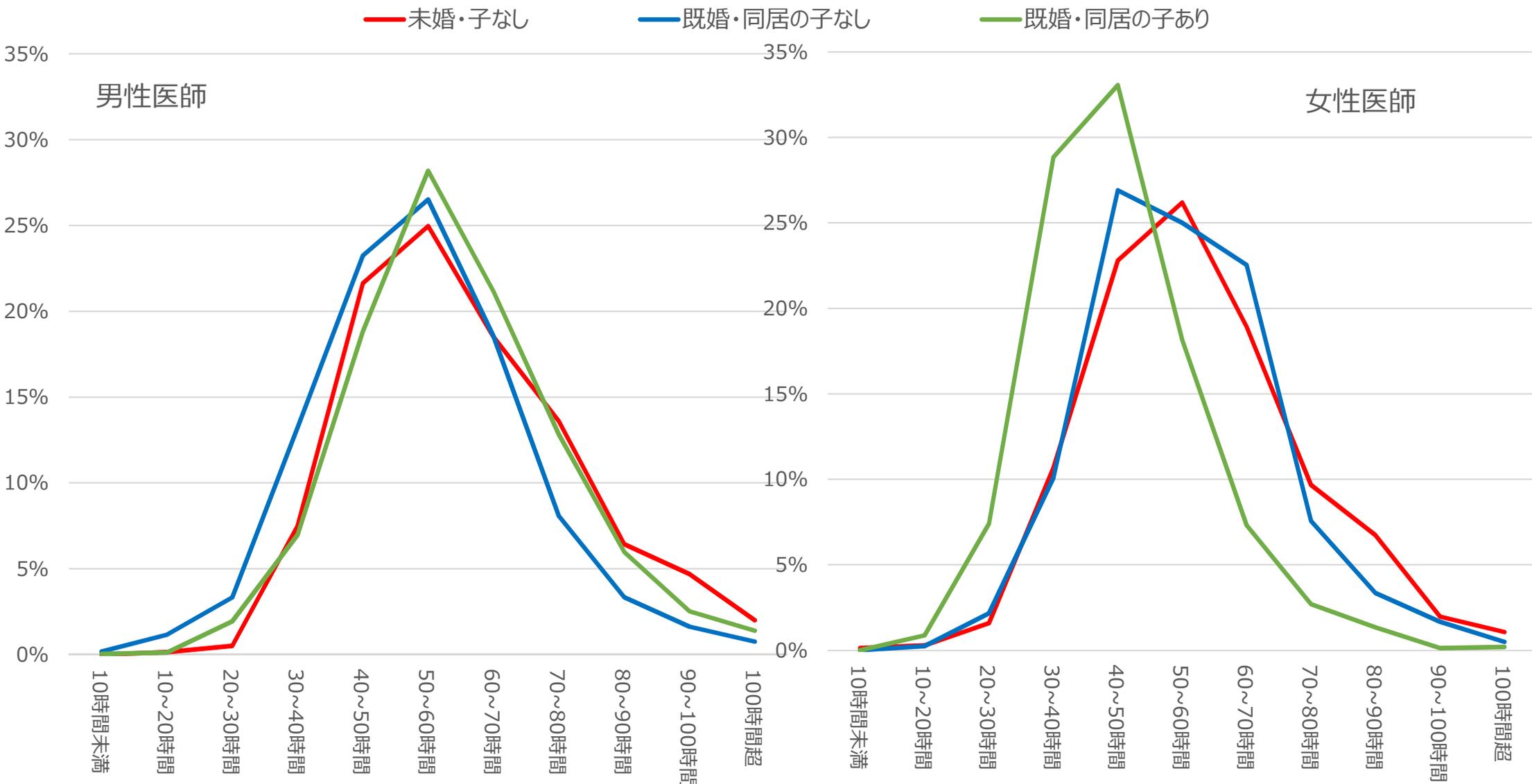
- 男性は、20代・30代・40代・50代は、「50～60時間」にピークがあり、60代で「40～50時間」にピークが下がる。女性は、いずれの年代も「40～50時間」にピークがあるが、20代は「60～70時間」の割合も高く、二峰性の分布となっている。
- 平成28年調査と比較し、男性は、30代で「60～70時間」から「50～60時間」にピークが下がり、60代以上を除き、「50～60時間」の割合が増えている。女性は、20代で「50～60時間」にピークがあったものが「40～50時間」、「60～70時間」の二峰性の分布になり、30代・50代では「50～60時間」、40代・60代では「40～50時間」の割合が増え、分布が勤務時間が長い方に移動している。



※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間：性・家族構成別分布

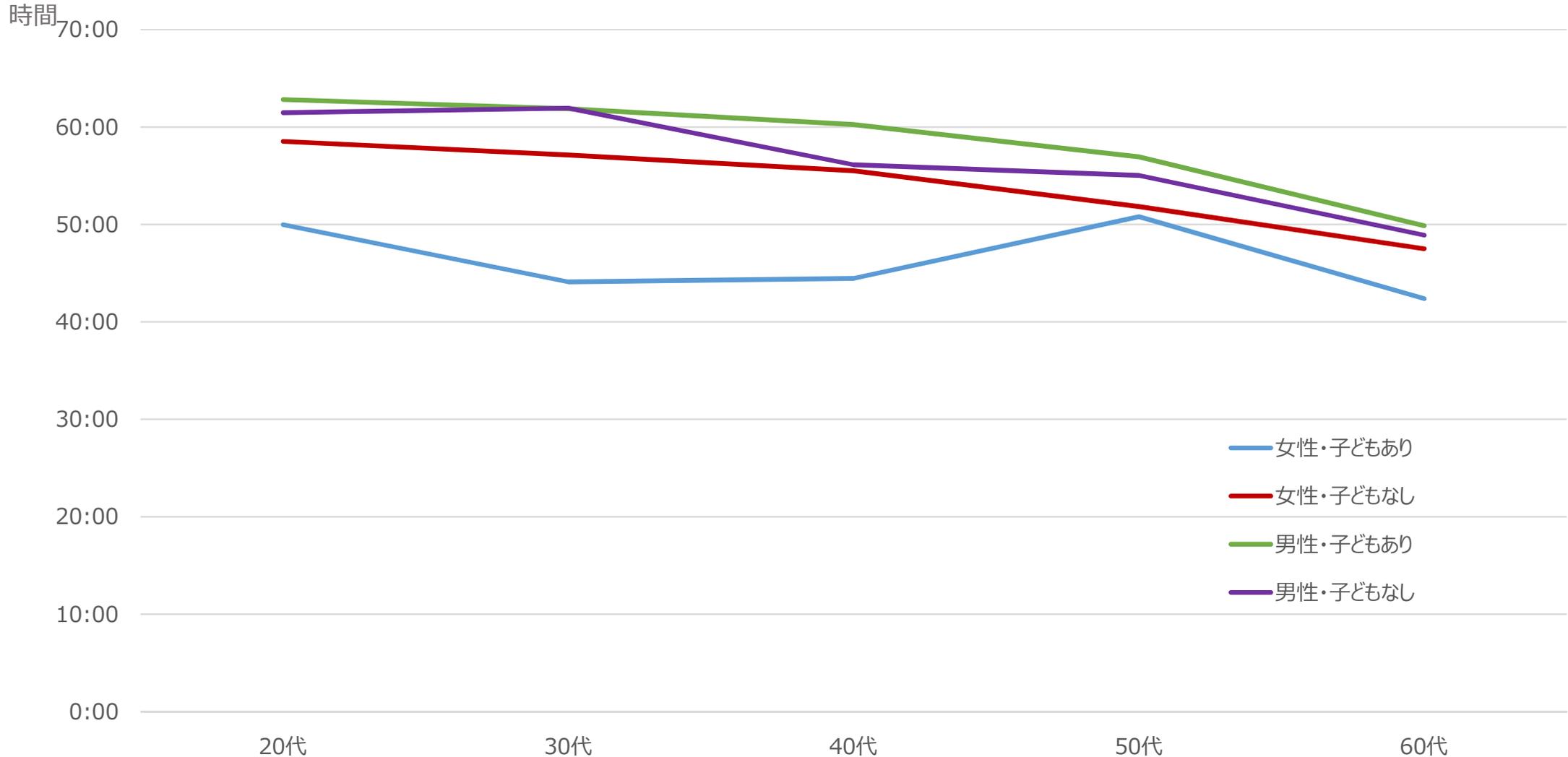
○ 同居の子どもがいる場合は、いない場合と比較して、既婚の女性は、勤務時間（診療時間＋診療外時間（指示なしを除く）＋宿直・日直中の待機時間※）が短くなる傾向がある一方、既婚の男性は、勤務時間が長くなる傾向がある（平成28年調査と同様の傾向である。）。



※ 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間：性・子どもの有無・年代別平均

- 20代～40代の子どもがいる女性の勤務時間は他と比較して短い。50代では子どものいない女性と同程度の勤務時間となる。
- 子どもがいる女性、子どものいない男性は50代で勤務時間が増加するが、その他の区分は、年代があがるにつれて勤務時間が短くなる。
- 平成28年調査と比較すると、20代の子どものない女性の勤務時間が短くなっている一方で、子どものいる女性の勤務時間が長くなり、その差が小さくなっている。また、40代の子どものない男性の勤務時間が短くなり、子どもがいる男性との差が生じている。



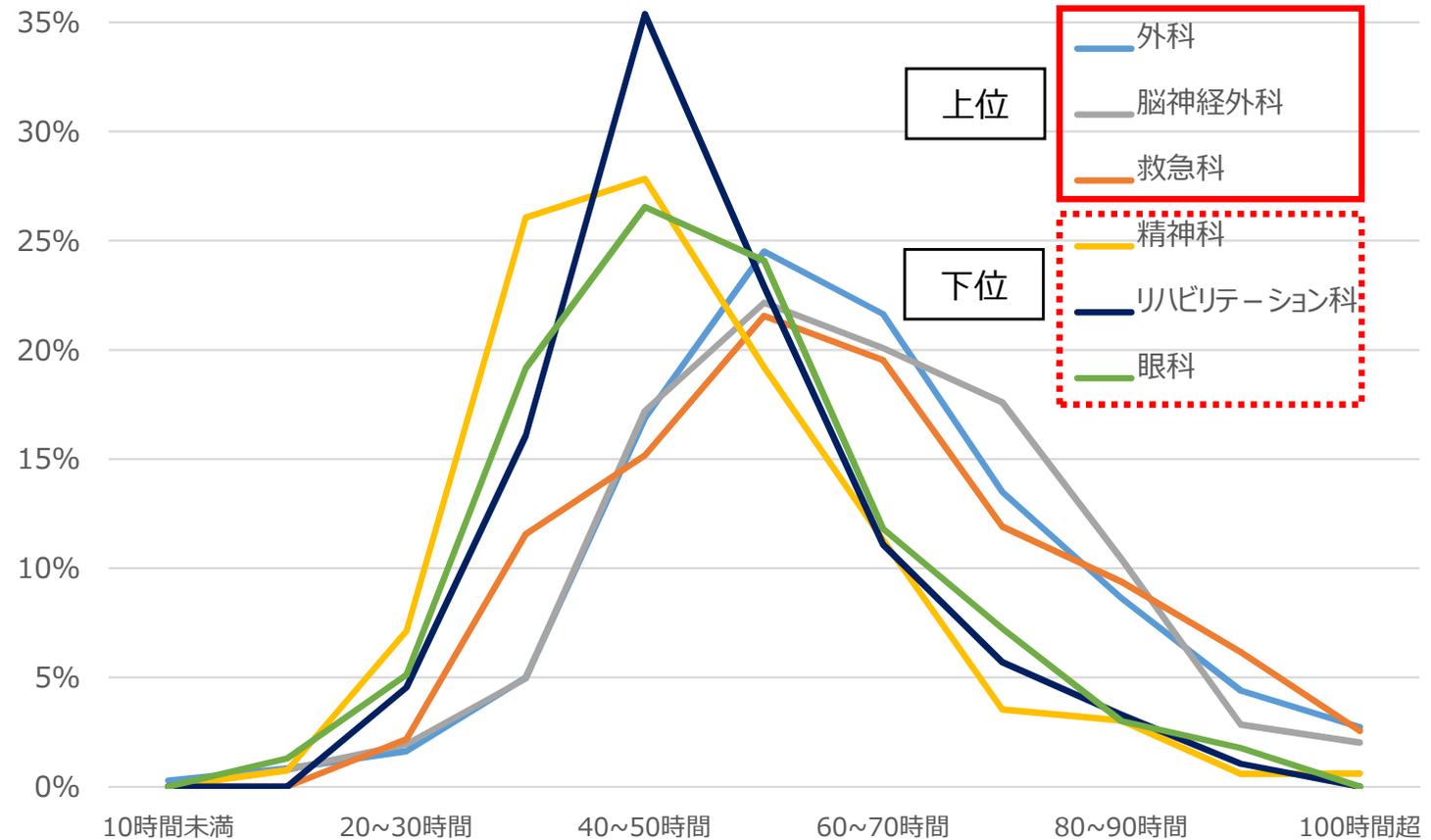
※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間：診療科別平均・診療科別分布

- 病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間（診療時間＋診療外時間（指示なしを除く）＋宿直・日直中の待機時間※）が60時間以上の割合は、平均の勤務時間が相対的に長い外科で51%、脳神経外科で53%、救急科で50%であった。一方、平均の勤務時間が相対的に短く週50時間を下回る精神科では、19%であった。
- 平成28年調査と比較し、比較可能な範囲では、各診療科で週当たり勤務時間は短くなっている。
- ※ 外科については平成28年調査では「外科系」として他の診療科とあわせて集計しているため直接比較はできない。

週当たり勤務時間	病院常勤勤務医
内科	56時間13分
外科	61時間54分
小児科	54時間15分
産婦人科	58時間47分
精神科	47時間50分
皮膚科	53時間51分
眼科	50時間28分
耳鼻咽喉科	55時間02分
泌尿器科	56時間59分
整形外科	58時間50分
脳神経外科	61時間52分
形成外科	54時間29分
救急科	60時間57分
麻酔科	54時間06分
放射線科	52時間54分
リハビリテーション科	50時間24分
病理診断科	52時間49分
臨床検査科	46時間10分
総合診療科	57時間15分
臨床研修医	57時間26分
全診療科平均	56時間22分

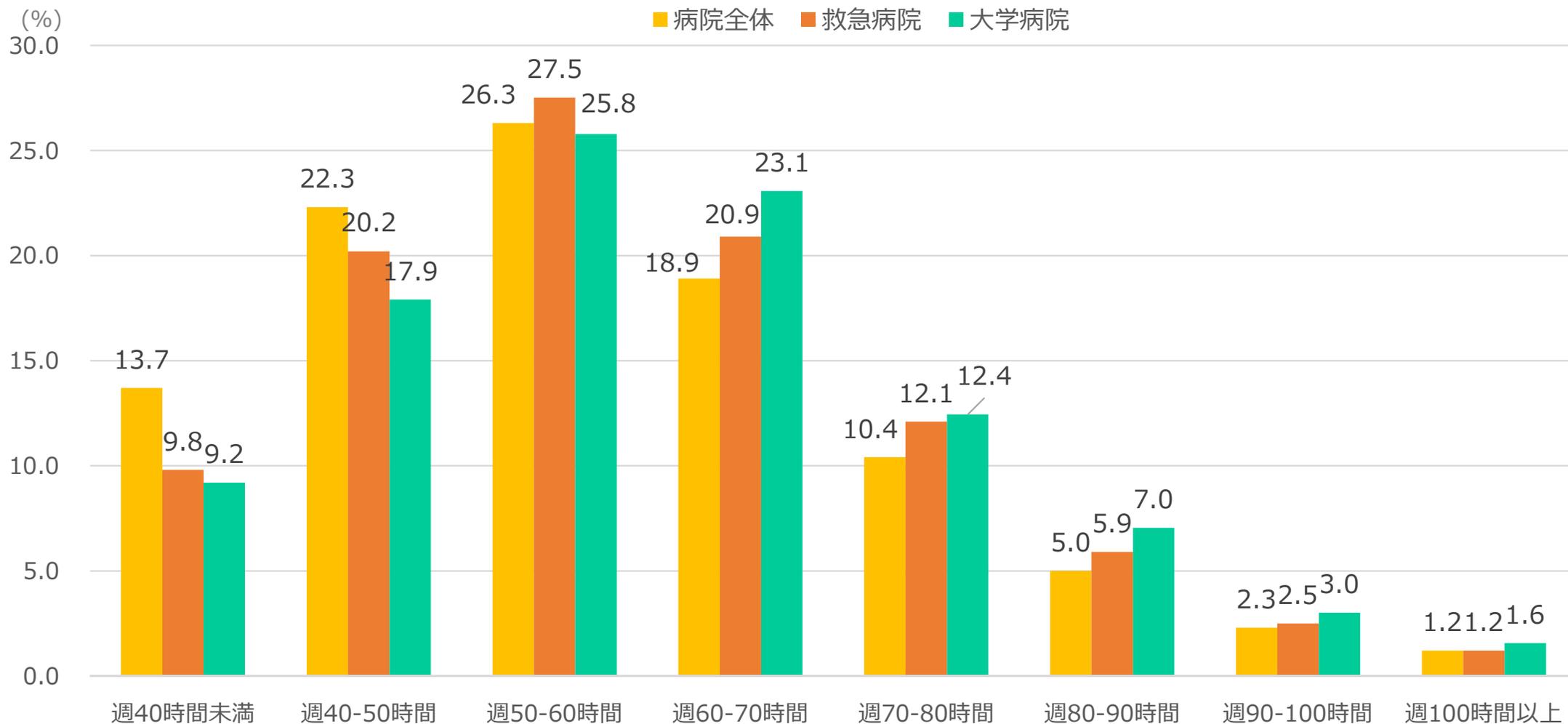
平均勤務時間の上位3診療科、下位3診療科を抽出



※ 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間：病院種別（全体・救急病院・大学病院）

○ 病院常勤勤務医全体、救急病院常勤勤務医と比較し、週50-60時間までは大学病院常勤勤務医の方が割合が低いが、週60時間以上では大学病院常勤勤務医の方が割合が高く、大学病院常勤勤務医は長時間労働医師が多い傾向にある。

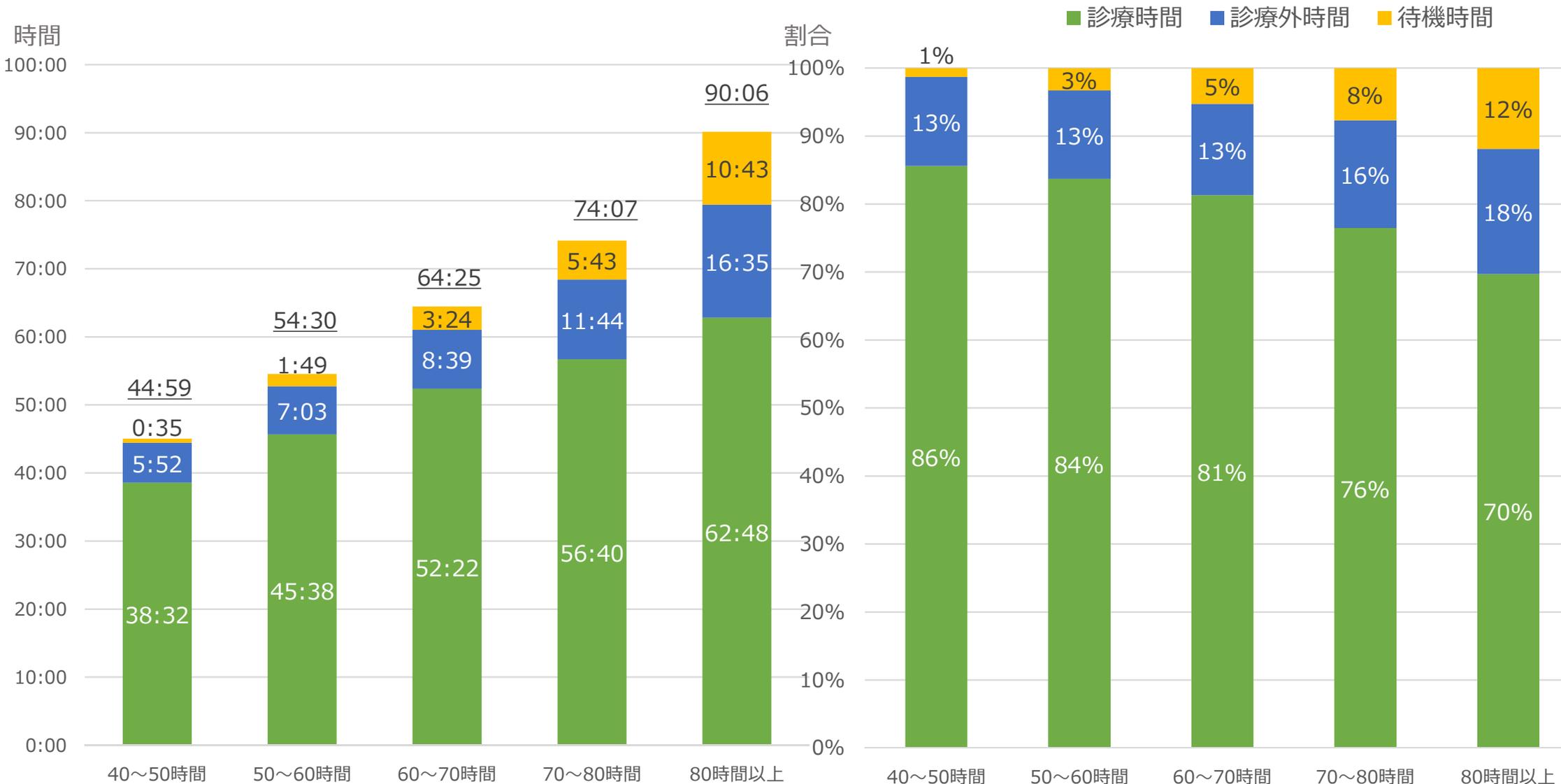


※ 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

※※ 三次救急病院及び救急車を1,000台以上受け入れている二次救急病院を救急病院とし、救急車受入件数は、平成30年病床機能報告救急機能を用いた。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間の内訳：勤務時間区分別（時間・割合）

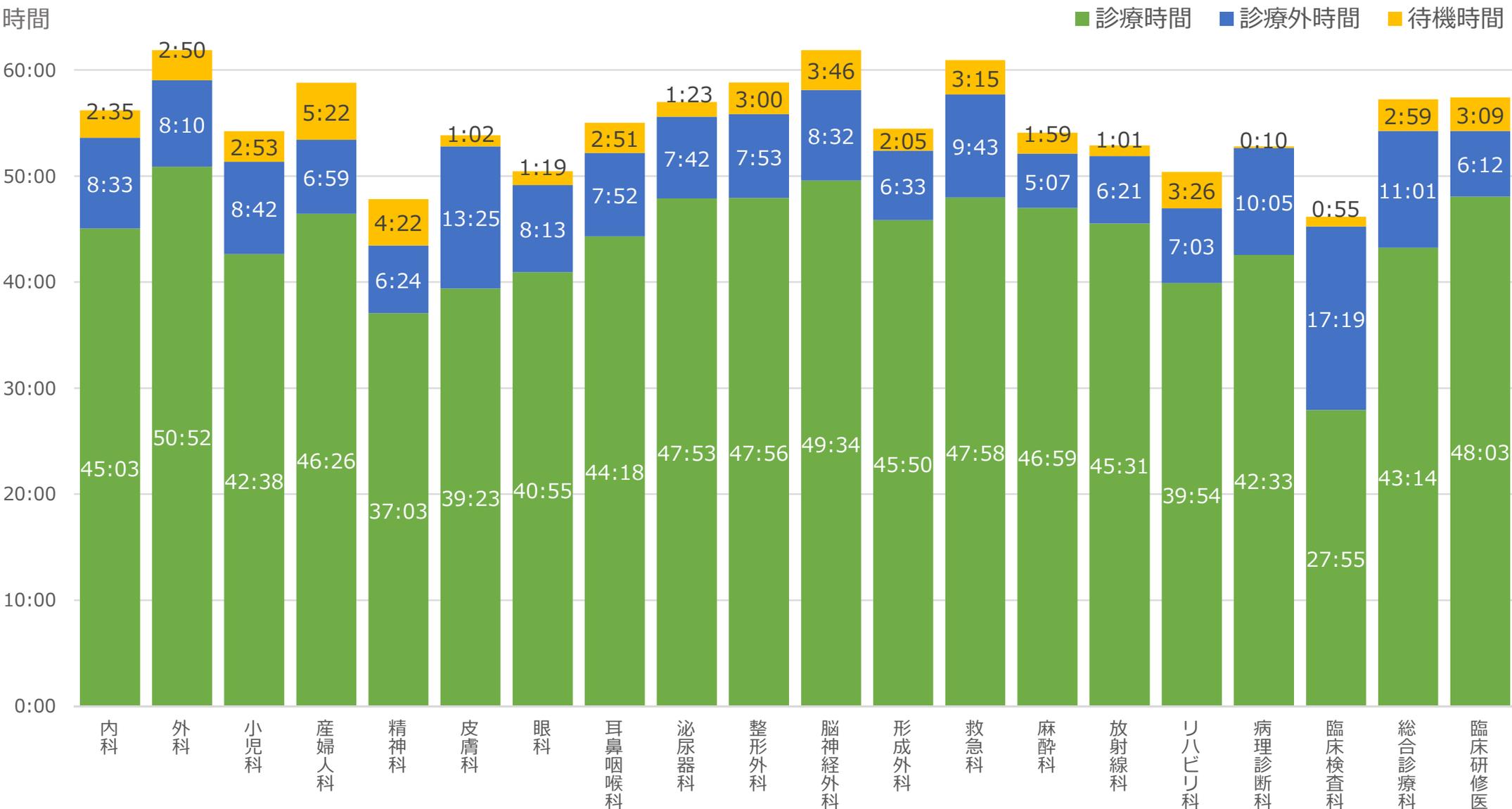
- 勤務時間が長くなると診療時間、診療外時間、待機時間のいずれも長くなるが、特に待機時間の占める割合が大きくなる。
- 平成28年調査と比較すると、診療時間が長くなり、診療外時間や待機時間は短くなっている。



※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間の内訳：診療科別（時間）

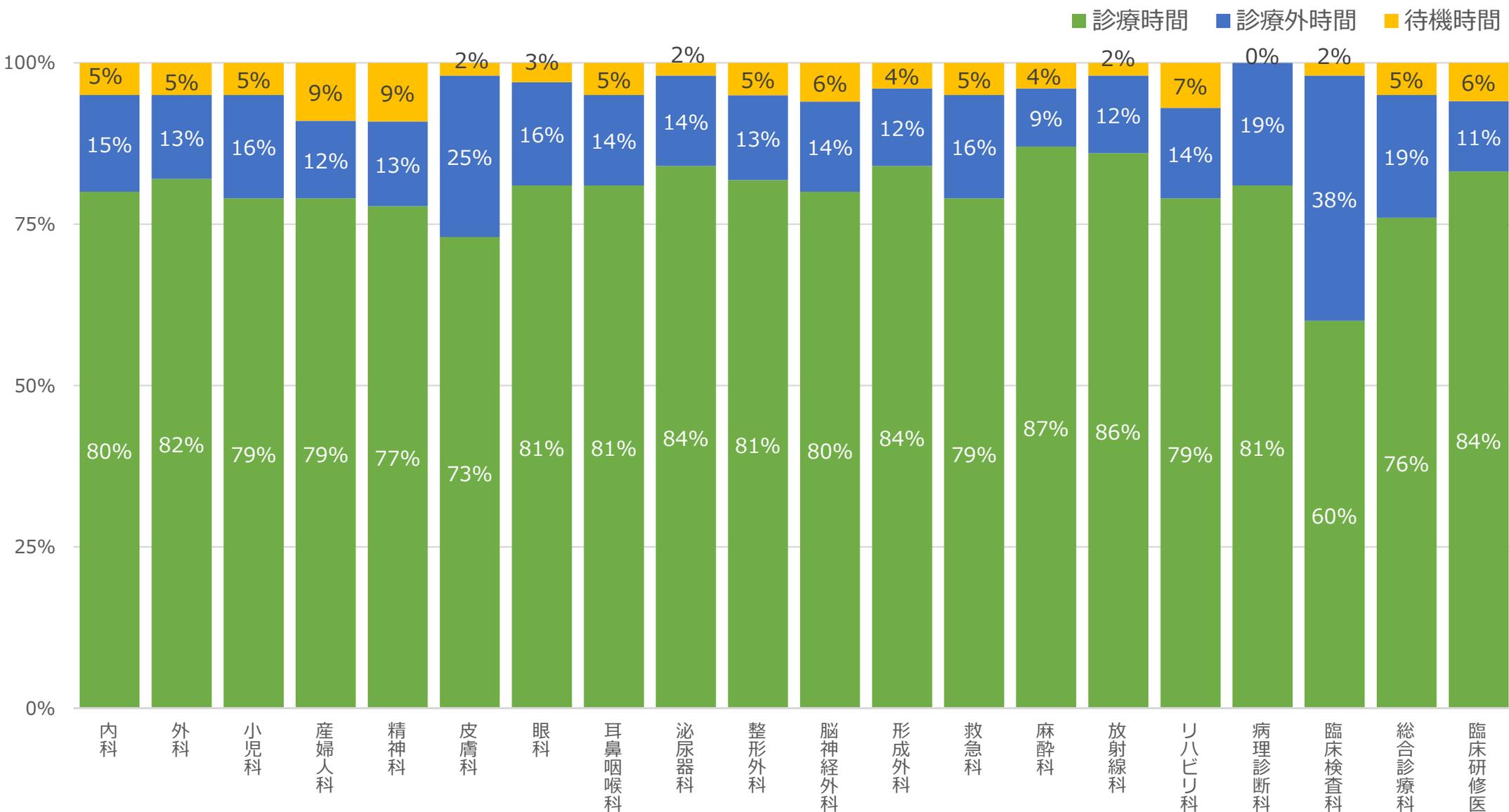
- 診療科全体の平均時間。
- 診療時間は診療科によって差がある。
- 外科のみ診療時間が週50時間を超えている。



※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間の内訳：診療科別（割合）

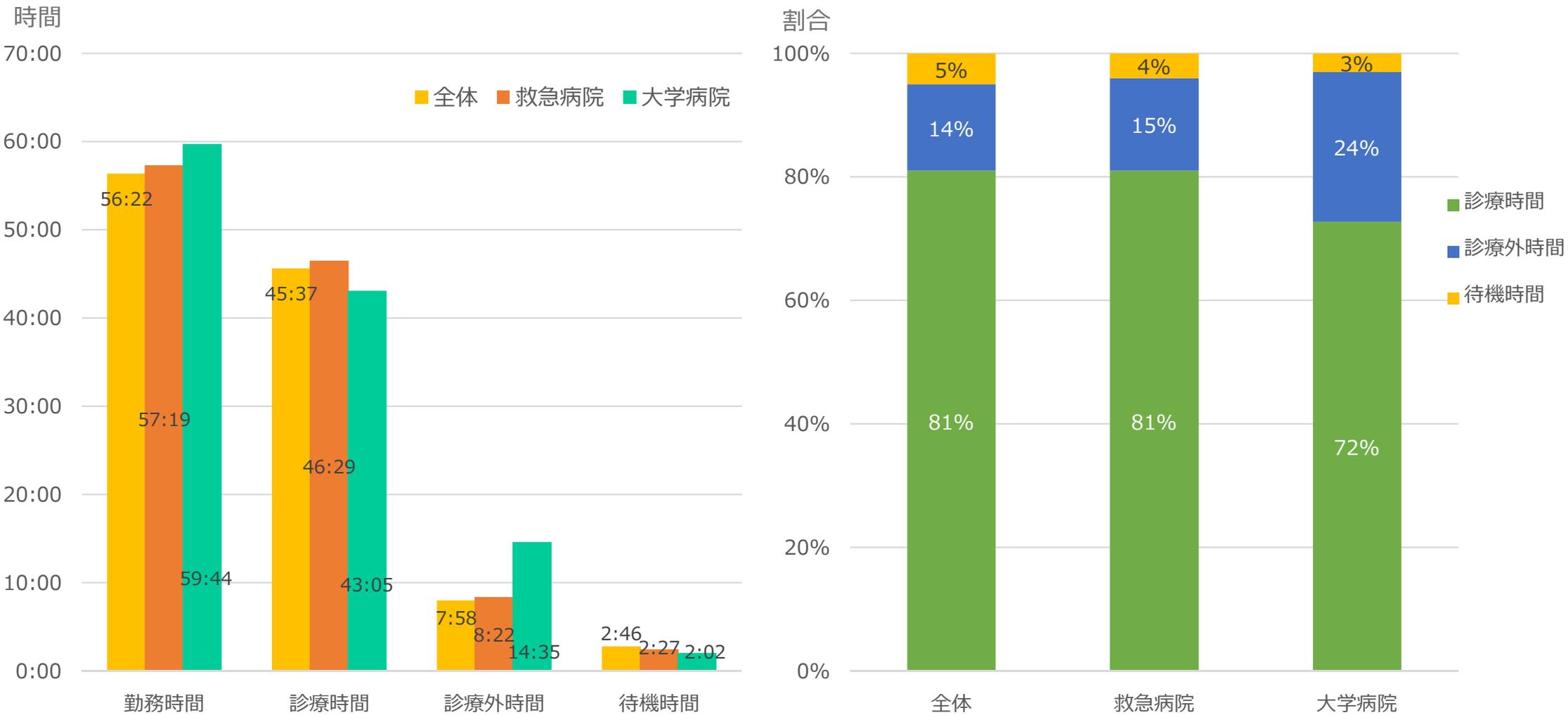
- 診療科全体の平均割合。
- 診療時間、診療外時間、待機時間の割合は診療科によって差がある。
- 皮膚科・臨床検査科では診療外時間の割合、産婦人科・精神科では待機時間の割合が比較的高い。



※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間の内訳：病院種別（全体・救急・大学）

- 週当たり勤務時間は、大学病院が約60時間と長い。
- 診療時間・待機時間は、医療機関種別によって大きな差はないが、大学病院における診療外時間が約14時間半と特に長く、勤務時間に占める割合も約24%と高い。
- 平成28年調査と比較し、全体、救急病院、大学病院いずれも勤務時間は短くなっており、勤務時間の内訳をみると、いずれも診療時間が長くなり、診療外時間が短くなっている。なお、救急病院が大学病院よりも診療時間の延長幅及び診療外時間の短縮幅は大きい。



※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

※※ 救急病院は、救命救急センター（3次救急認定）、2次救急医療施設（2次救急認定）、救急告示病院として、集計した。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間の内訳：大学病院常勤勤務医・診療科別

診療科	大学病院における週当たり平均時間（研究時間、教育時間、研鑽その他時間は、診療外時間のうちの再掲※3）					
	勤務時間※1	診療時間	診療外時間※2	（研究時間）	（教育時間）	（研鑽・その他時間）
【全体平均】	49:12	35:33	12:22	6:36	2:38	1:10
内科	48:27	31:59	15:29	8:41	3:13	0:59
外科	55:21	42:51	10:53	5:44	2:26	1:36
小児科	49:25	36:29	11:01	5:08	2:04	1:54
産婦人科	51:28	37:59	11:15	5:58	3:32	2:12
精神科	41:28	24:26	15:06	8:50	3:08	1:56
皮膚科	47:48	29:49	17:10	8:10	3:15	0:48
眼科	42:25	31:43	9:18	4:47	1:35	1:24
耳鼻咽喉科	48:21	35:52	9:18	3:42	2:17	3:11
泌尿器科	53:18	37:24	14:55	6:22	3:44	0:58
整形外科	49:44	35:46	13:12	6:37	2:07	0:45
脳神経外科	52:25	38:35	12:55	7:07	2:17	0:54
形成外科	47:51	37:45	9:44	4:09	2:15	0:20
救急科	49:16	36:38	11:41	5:31	4:58	0:56
麻酔科	47:33	38:05	7:51	4:13	2:36	1:37
放射線科	43:55	32:49	10:22	5:02	2:04	0:43
リハビリテーション科	40:45	24:03	16:40	9:14	4:14	0:01
病理診断科	47:54	30:08	17:45	7:13	3:07	0:00
臨床検査科	48:09	16:57	29:39	25:12	19:33	1:32
総合診療科	43:23	28:49	13:55	2:52	6:28	0:38
臨床研修医	52:07	44:51	5:46	4:18	0:05	1:29

※1 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

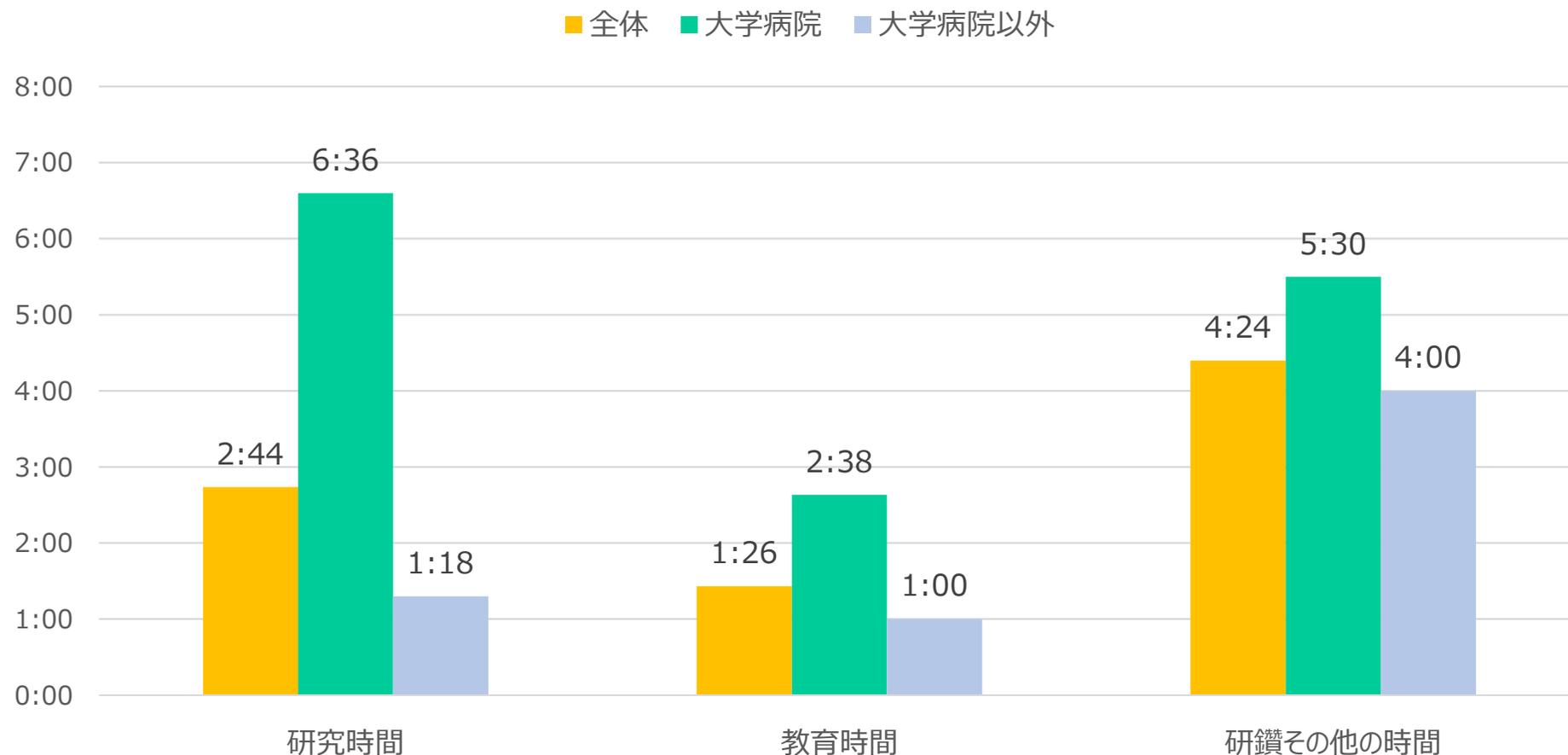
※2 勤務時間は、本務先である大学病院における診療時間と診療外時間、宿直・日直中の待機時間の合計

※3 診療外時間は、指示無し時間を除く

※4 診療外時間のうち、研究時間、教育時間、研鑽・その他時間は重複回答があること、指示無し診療外業務があることから、研究、教育、研鑽・その他の時間の合計が診療外時間とは限らない

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間の内訳：研究・教育・研鑽その他の時間

○ 大学病院常勤勤務医と大学病院以外の病院常勤勤務医を比較すると、大学病院常勤勤務医の方が診療外時間が長く、主たる勤務先での、「研究」・「教育」・「研鑽その他」のいずれの時間も長い。



※ 1 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

※ 2 主たる勤務先の研究時間、教育時間、研鑽・その他の時間については、指示の有無に関係なく行ったものを積算していること、重複して記載している場合もある。

病院・常勤勤務医の週当たり勤務時間の内訳：都市部／地方部別・年代別

- 都市部と地方部の勤務時間の比較では、20代～50代で大きな差は見られない。60代では、地方部の方が少ない傾向にある。
- 平成28年調査と比較すると、60代を除いて、都市部と地方部の勤務時間の差が小さくなっている。

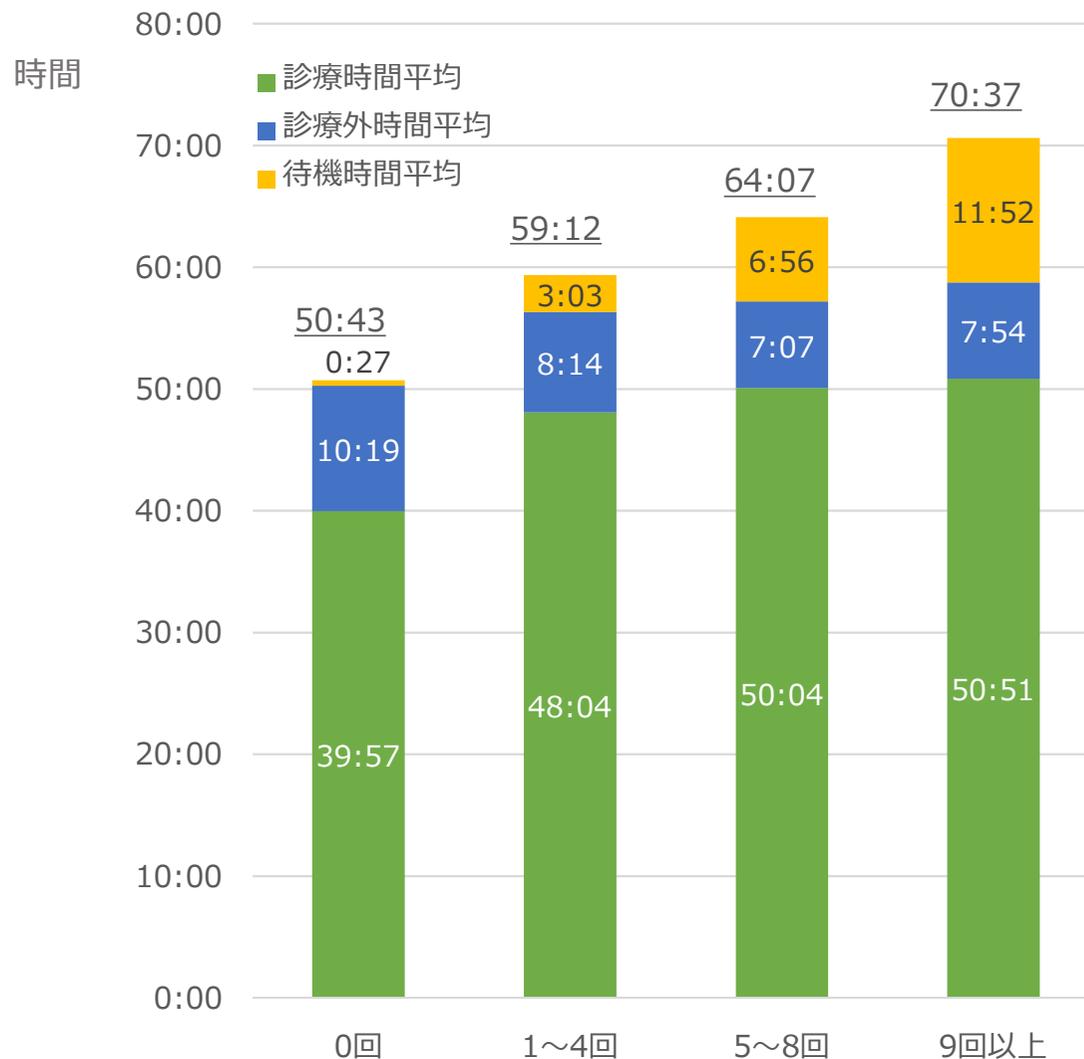
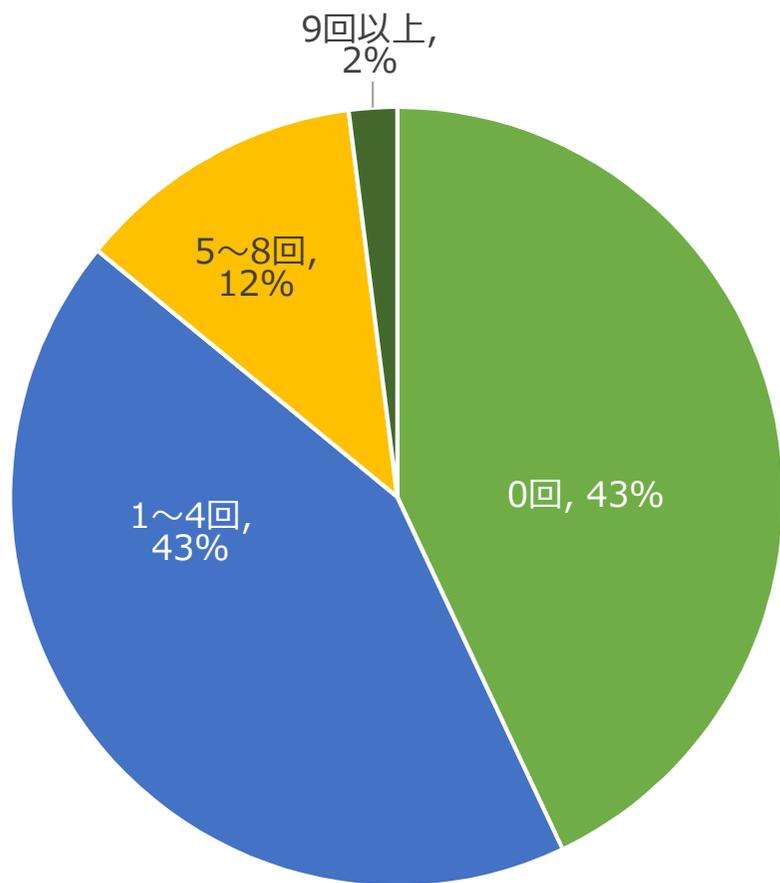


※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

※※ 都市部は、東京23区、政令指定都市、県庁所在地とし、地方部は、都市部以外とした。

病院・常勤勤務医の月当たり宿直回数の割合と宿直回数別勤務時間内訳

- 月当たり宿直回数が0回の医師は43%、1~4回は43%、5~8回は12%である。平成28年調査とはあまり変わらない。
- 宿直がない群とある群を比較すると、宿直がある群の方が診療時間が長い傾向にあるが、宿直の回数が増加すると診療時間と診療外時間には大きな変化がないが、待機時間が顕著に増加する。

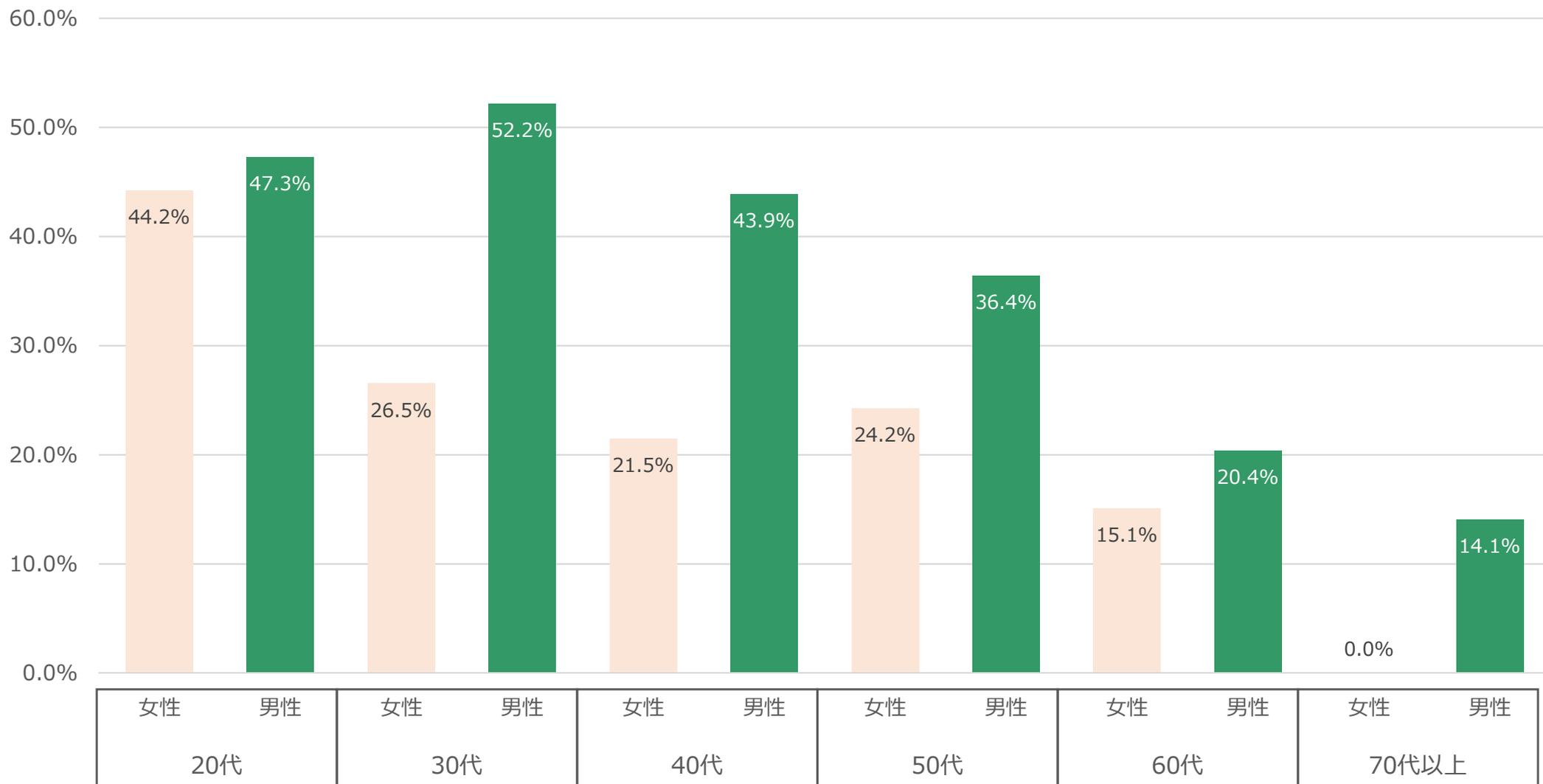


※ 病院・常勤勤務医のうち、労働時間等調査項目について有効回答とした4日以上記載のあるもの（N=8,937人）を対象とし、調査月の前月（令和元年8月）に行った、主たる勤務先と兼務先の宿直（夜間の勤務帯に行うもの）の回数について集計。

※※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外。本集計では、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整は行っていない。

週当たり勤務時間が60時間以上の病院・常勤勤務医の割合：性・年代別

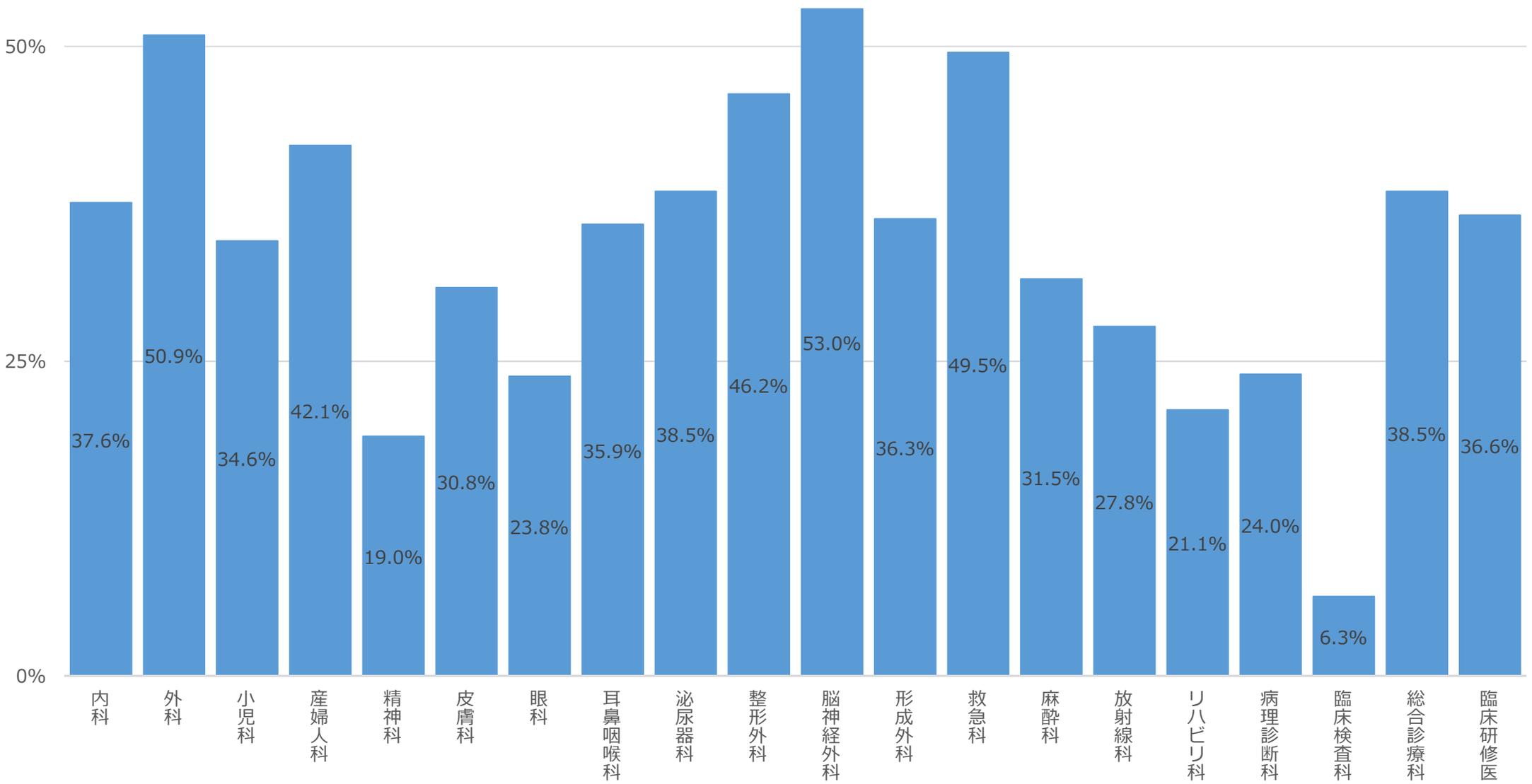
- いずれの年代においても、男性の割合が女性よりも多い。
- 20代では、週当たり勤務時間60時間以上の割合は、男女で大きな差は見られないが、30代以上は男女の差が大きくなっている。
- 平成28年調査と比較すると、女性は50代のみ増え、その他の世代では減っている。男性は20～40代で減り、50代以降は増えている。



※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

週当たり勤務時間が60時間以上の病院・常勤勤務医の割合：診療科別

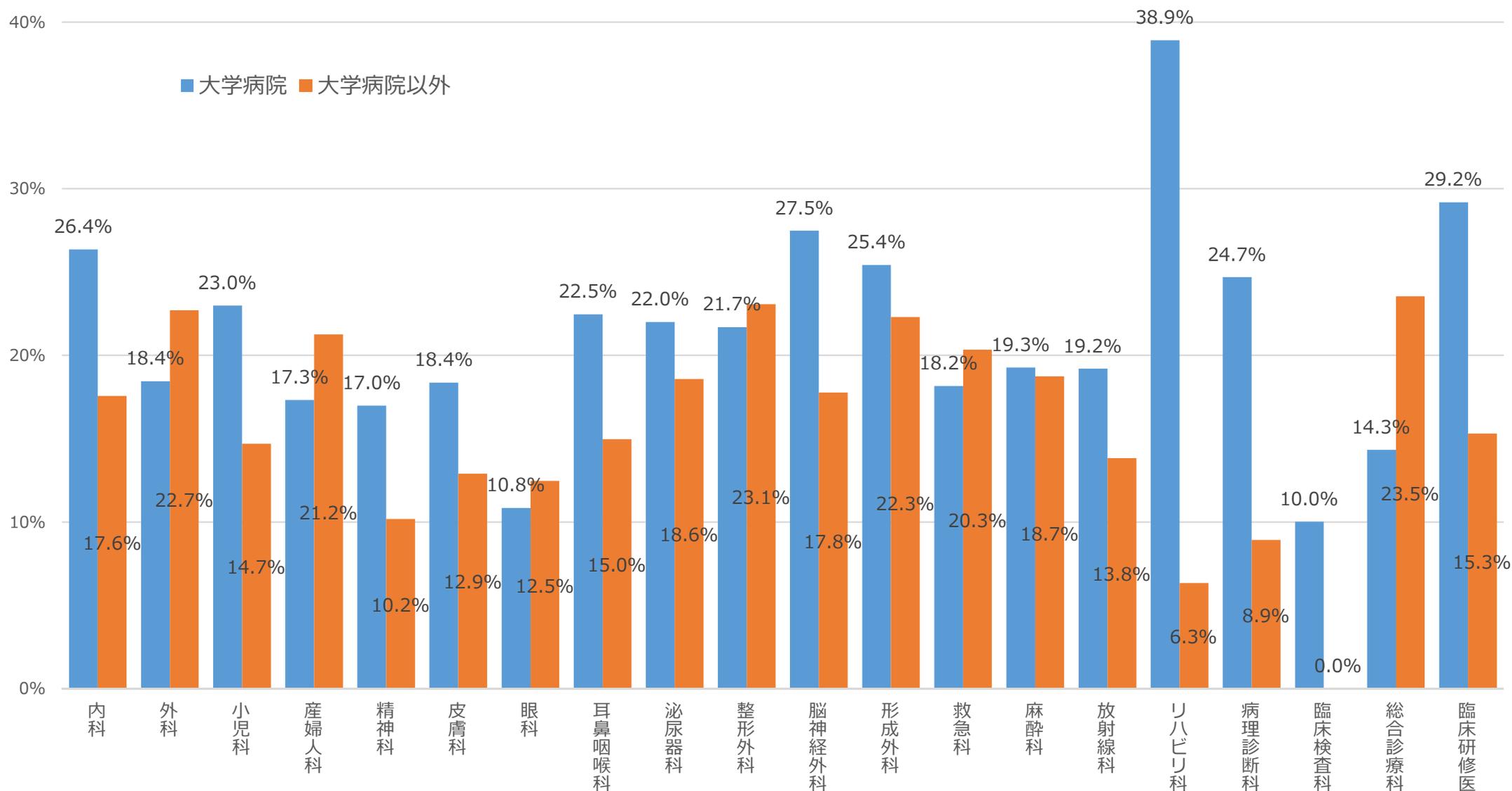
- 診療科別週当たり勤務時間60時間以上の割合で見ると、診療科間で2倍以上の差が生じている。
- 診療科別週当たり勤務時間60時間以上の割合は、脳神経外科で約53%、外科で約51%、救急科で約50%。臨床研修医は、平成28年調査では約48%であったが、約37%まで下がっている。



※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

週当たり勤務時間が60時間以上の勤務医の割合：診療科・病院種別

- 主たる勤務先と兼務先の勤務時間の合計を集計したもの。各割合は、勤務先種別の当該診療科全体数のうち、当該勤務先種別の勤務時間が60時間以上の医師の割合。（例：大学病院の内科医の内、週60時間以上の勤務時間の内科医の割合）
- 診療科別週当たり勤務時間60時間以上の割合は、診療科によって大学病院の方が割合が高い場合もあれば、大学病院以外の病院の方が高い場合がある。

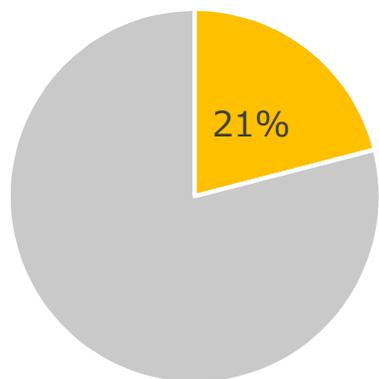


※ 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

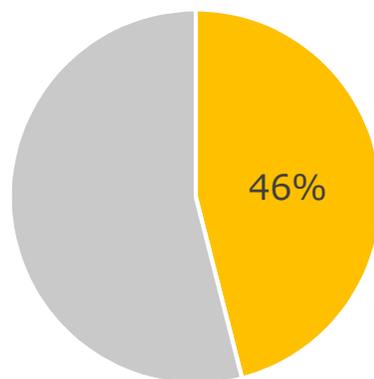
週当たり勤務時間が80時間以上の医師がいる病院の割合

週当たり勤務時間が80時間以上の医師がいる病院の割合

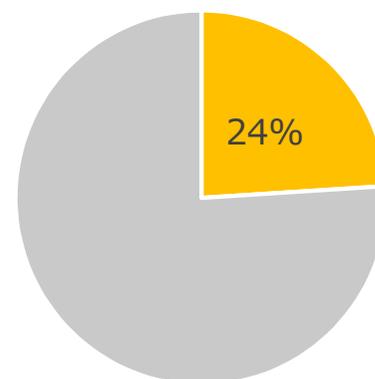
全体



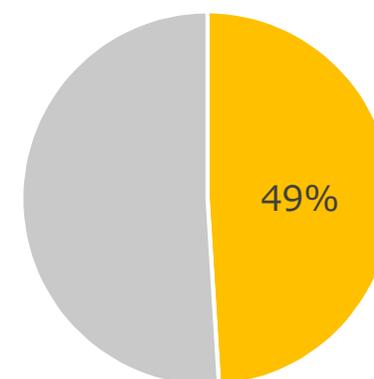
大学病院



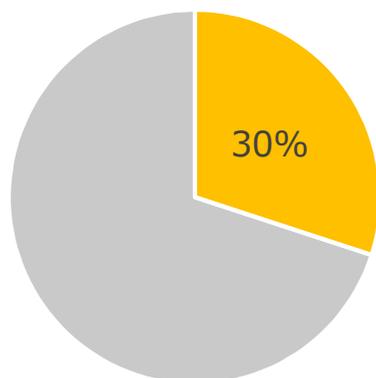
救急機能を有する病院



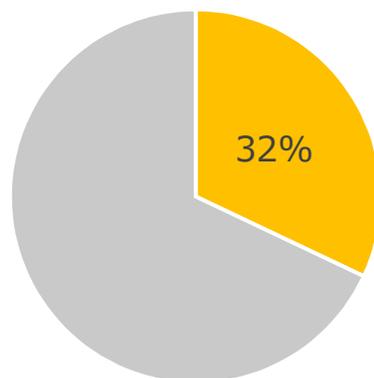
救命救急機能を有する病院



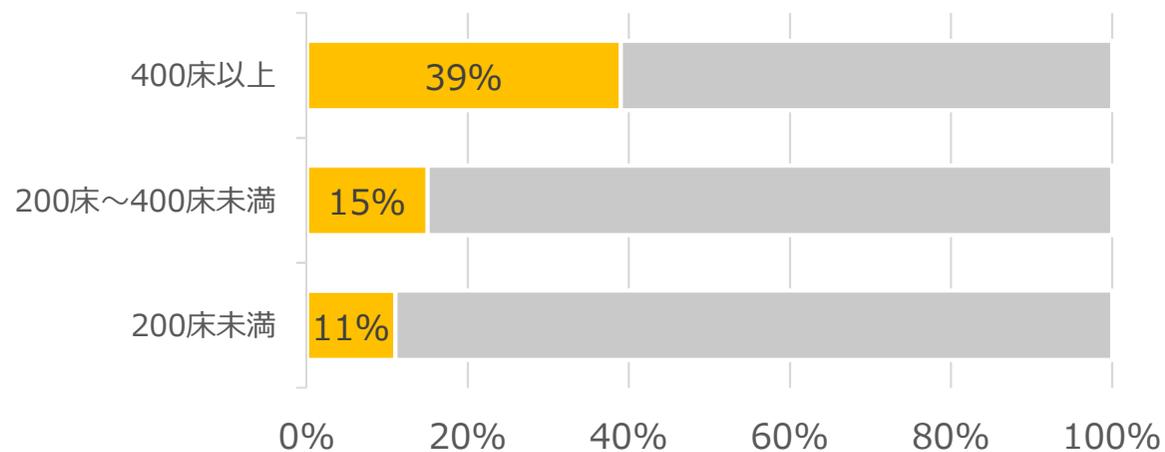
救急車受入件数1,000台以上の病院



基幹型臨床研修病院



(許可病床規模)

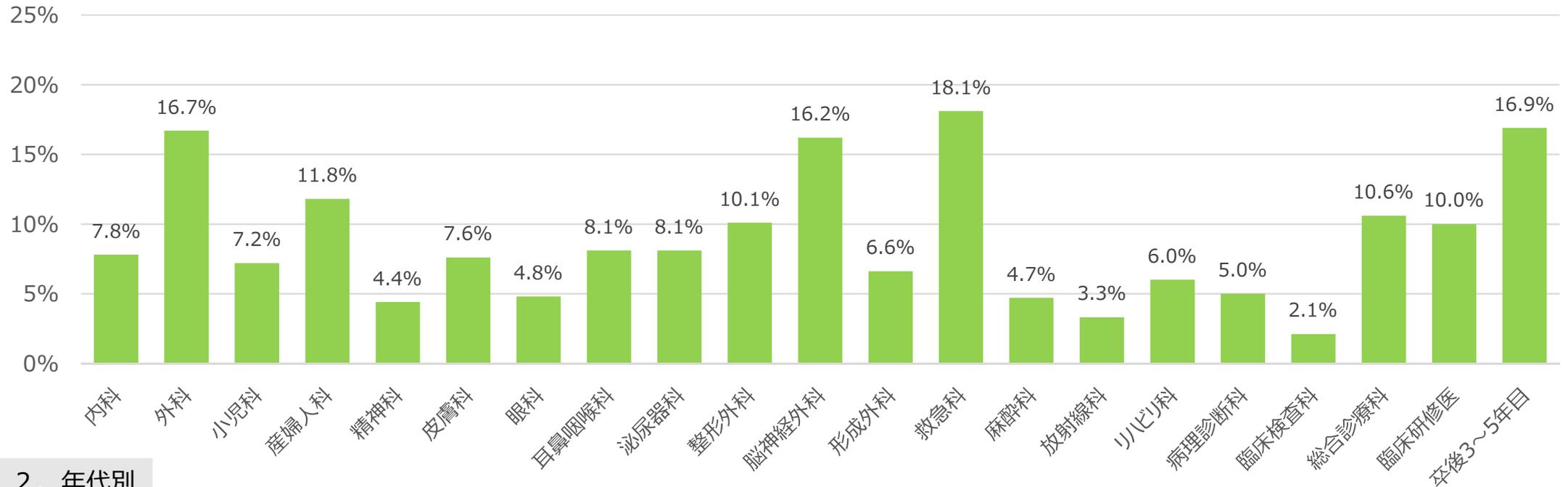


※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

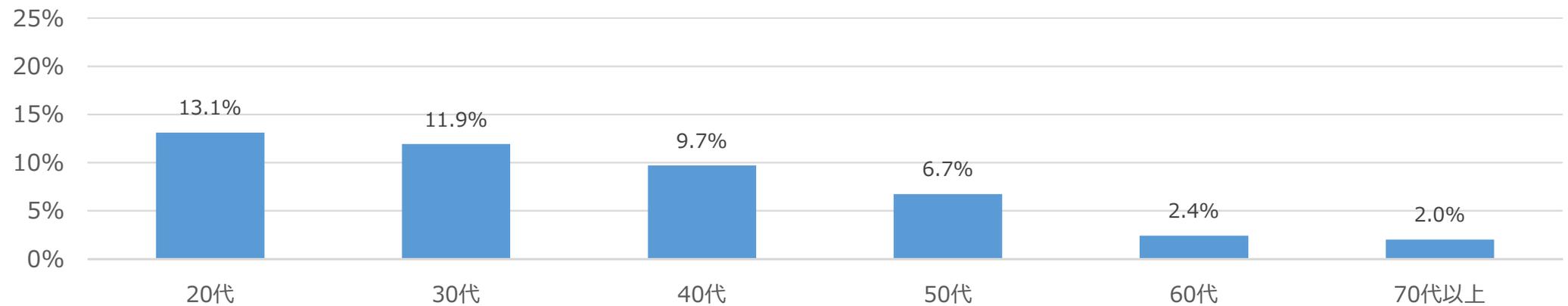
※※ 平成30年病床機能報告救急機能とは、救急告示病院、二次救急病院、救命救急（三次救急）病院のいずれかに該当するもので、救命救急機能は、三次救急病院に該当するもの。なお、救急車受入件数は、平成30年病床機能報告で報告された件数から抽出した。

時間外労働年1860時間換算以上の医師の割合：診療科別・年代別

1. 診療科別



2. 年代別



※ 診療外時間から指示の無い診療外時間を除外し、宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

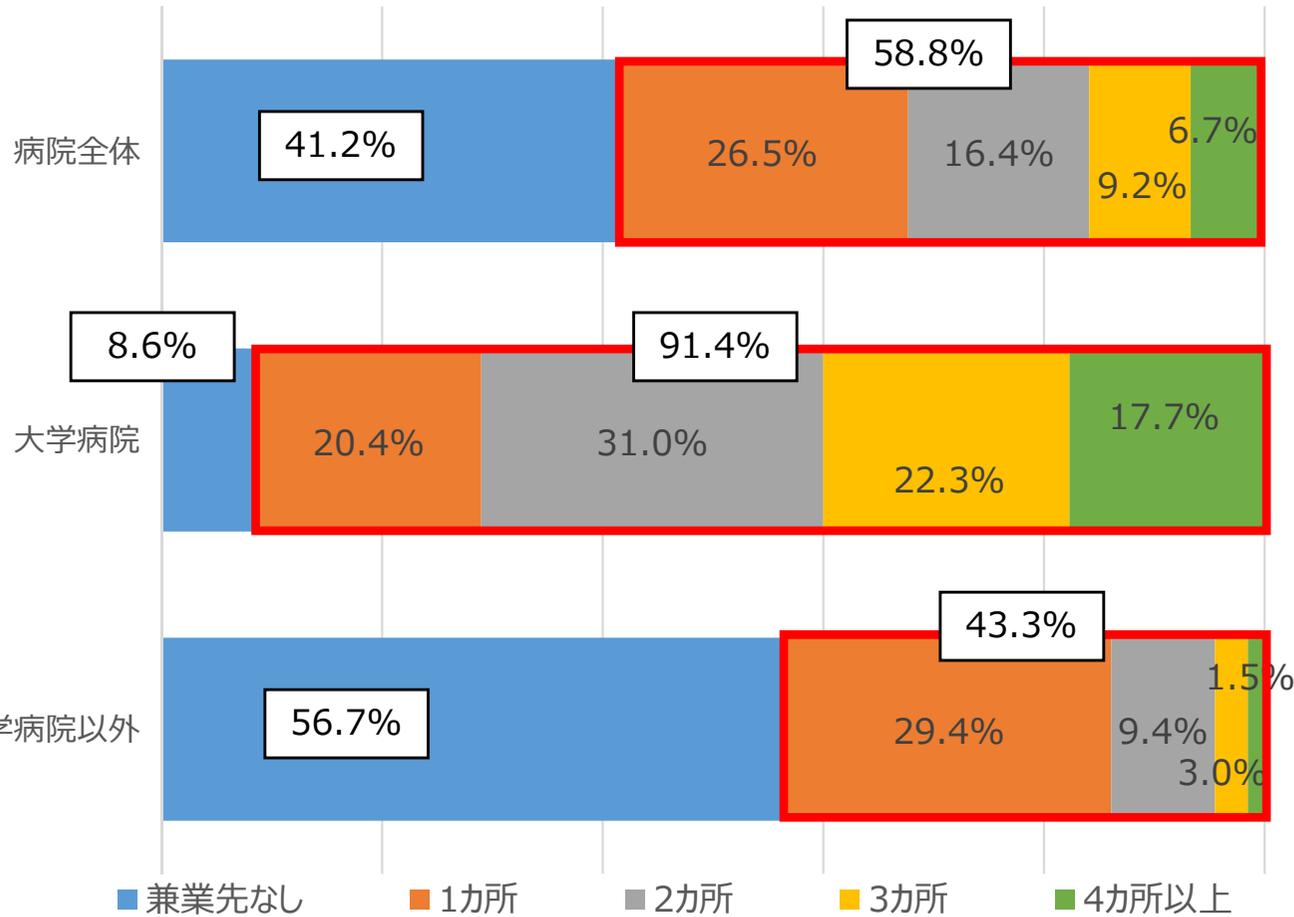
※※ 年上限ラインは時間外・休日労働年1,860時間換算である週78時間45分勤務とした。

※※※ 「卒後3~5年目」に含まれる医師については、「臨床研修医」以外の各診療科に含まれる医師と重複。

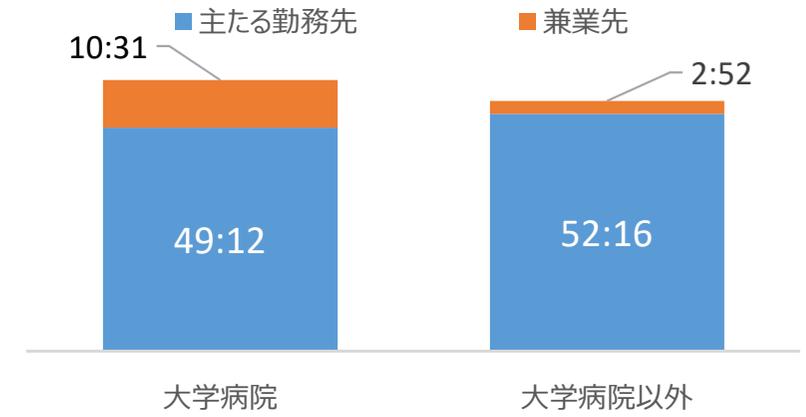
副業・兼業：兼業医療機関数（全体・大学病院・大学病院以外）と勤務時間

- 病院常勤勤務医において、約6割は主たる勤務先以外での勤務を行っている。
- 大学病院常勤勤務医においては、9割以上が複数の医療機関で勤務している。

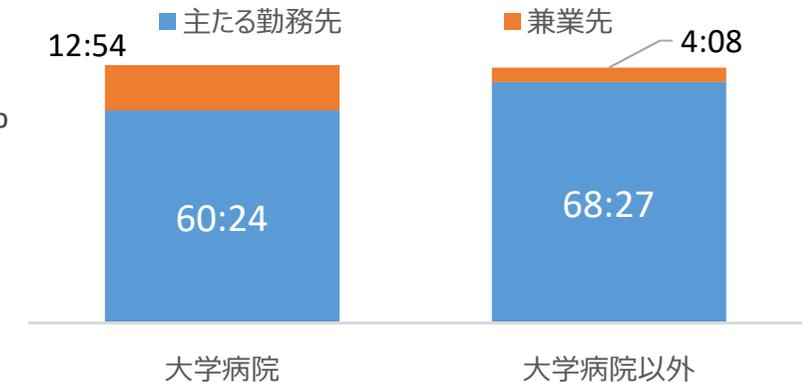
◆ 病院常勤医師の兼業医療機関数（令和元年8月）



◆ 1週間の平均労働時間（令和元年9/2～9/8）



◆ 時間外労働時間が960時間換算以上の医師の平均労働時間（令和元年9/2～9/8）

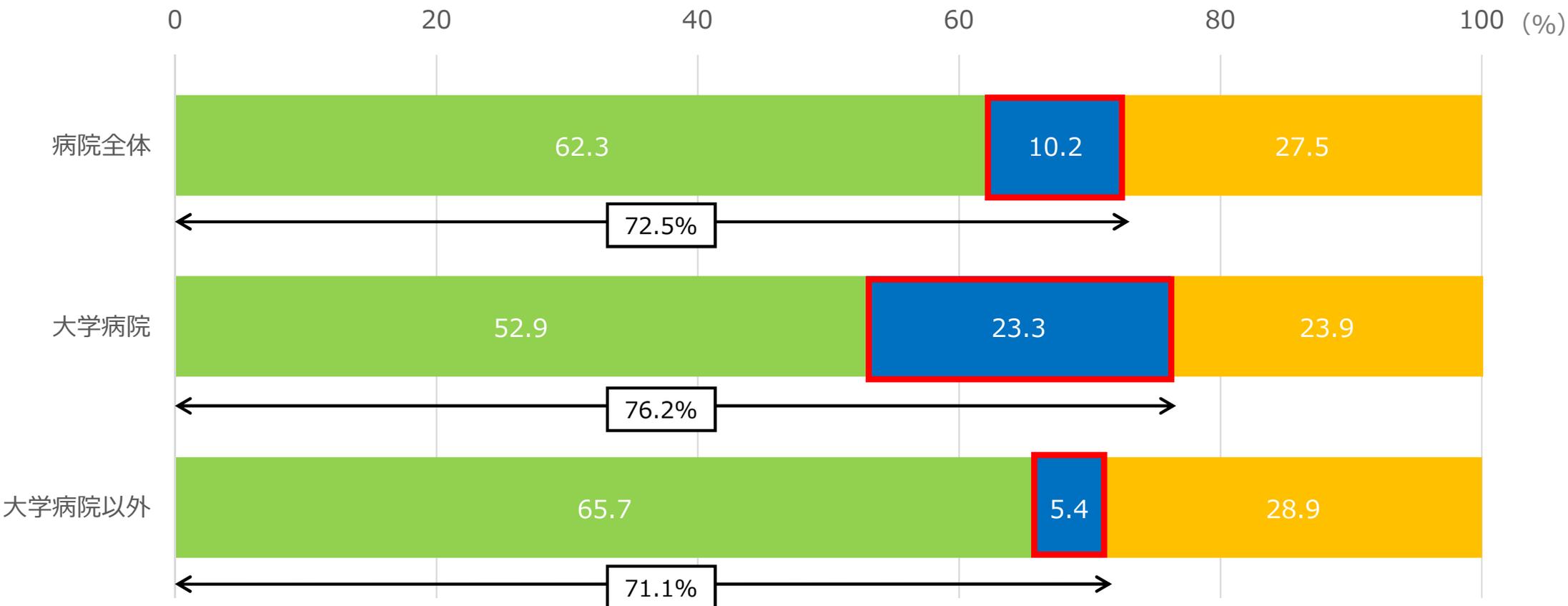


※ 1 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

※ 2 兼業医療機関数については、令和元年8月1ヶ月間における主たる勤務先以外の勤務医療機関数の設問に対する回答を集計している。

副業・兼業：主たる勤務先と兼業先の勤務時間（全体・大学病院・大学病院以外）

○ 主たる勤務先である大学病院での勤務時間が週60時間（年間時間外・休日労働960時間換算）の範囲内に収まる医師は全体の76.2%であるが、兼業先での勤務時間を通算すると週60時間を超過する医師が全体の23.3%と、大学病院以外の医師よりもその割合が高い。

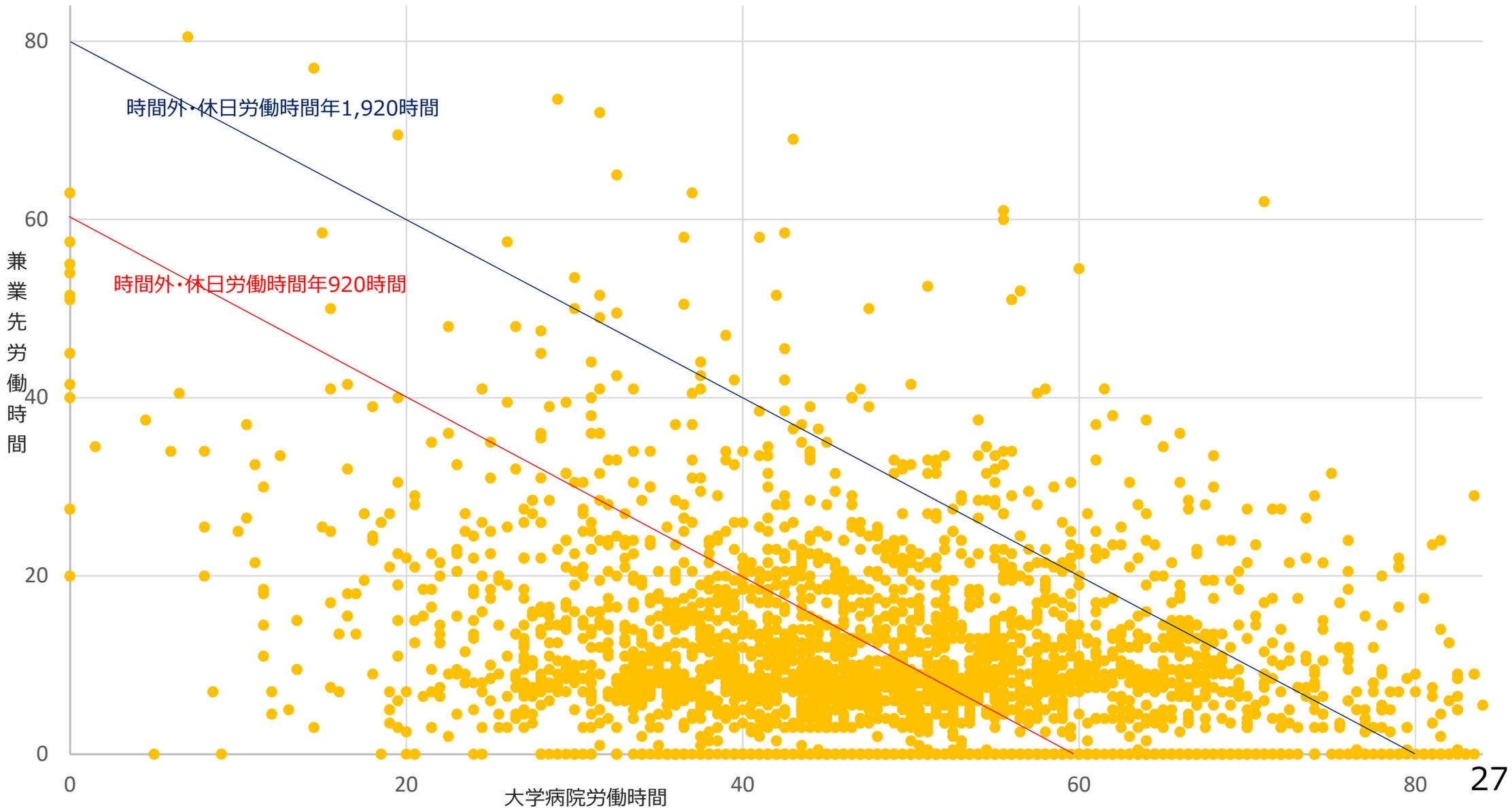


- 主たる勤務先での勤務時間が週60時間以内で、かつ兼業先での勤務時間を通算しても週60時間以内
- 主たる勤務先での勤務時間が週60時間以内も、兼業先での勤務時間を通算すると週60時間以上
- 主たる勤務先での勤務時間が週60時間以上

※ 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

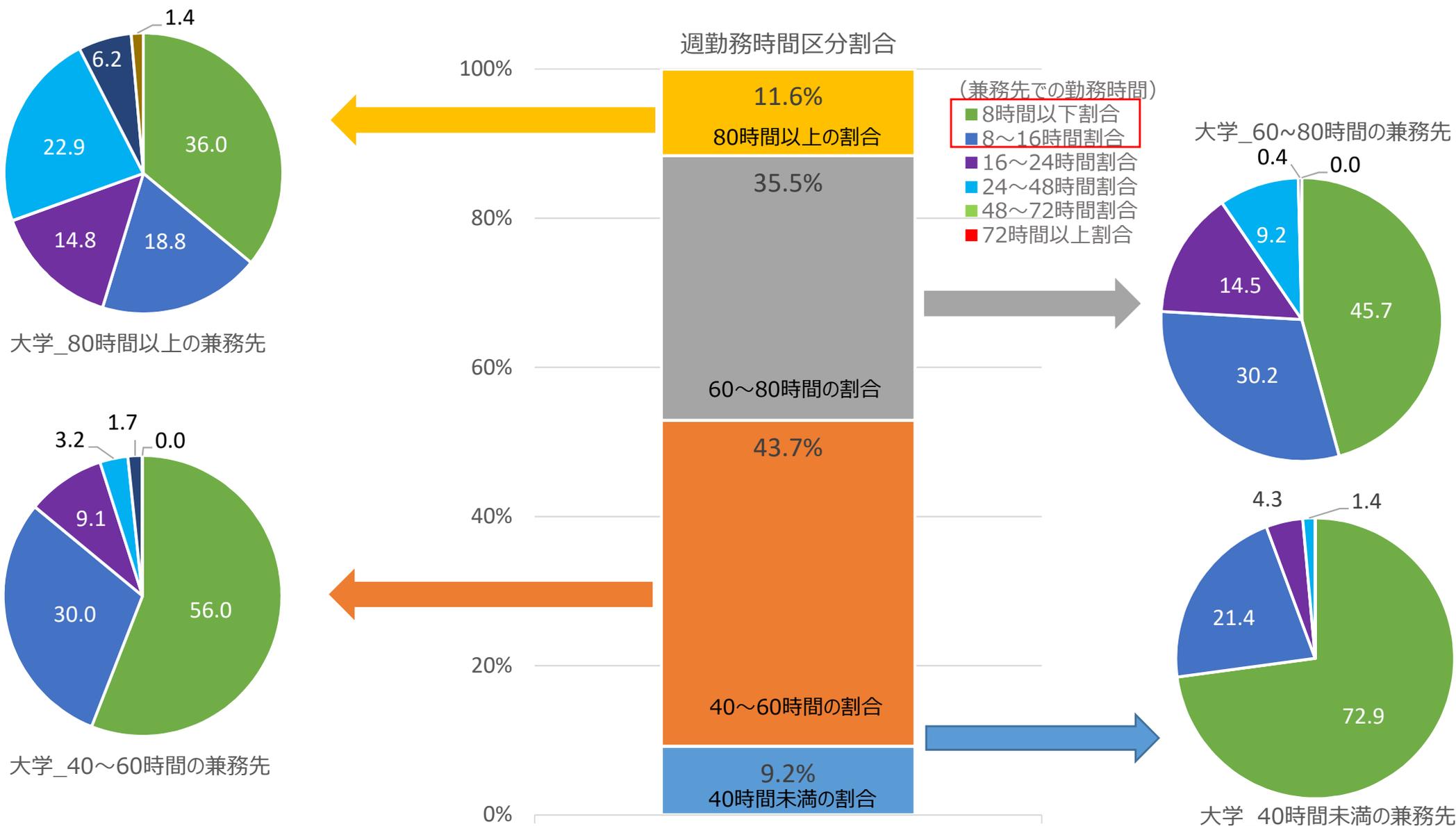
副業・兼業：主たる勤務先と兼業先の勤務時間（大学病院）

○ 大学病院での勤務時間が週60時間の範囲内であっても、兼業先での勤務時間を含むと週60時間を超える医師が多くいる。



副業・兼業：大学病院常勤勤務医の勤務時間区分別兼業先の勤務時間

○ 兼業先を含む週勤務時間が長い医師ほど、兼務先での勤務時間が長い傾向にある。



※ 宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を勤務時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っている。

平成28年調査結果

現在の医師の勤務実態や、働き方の意向・キャリア意識を正しく把握することを目的に、「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」を実施。

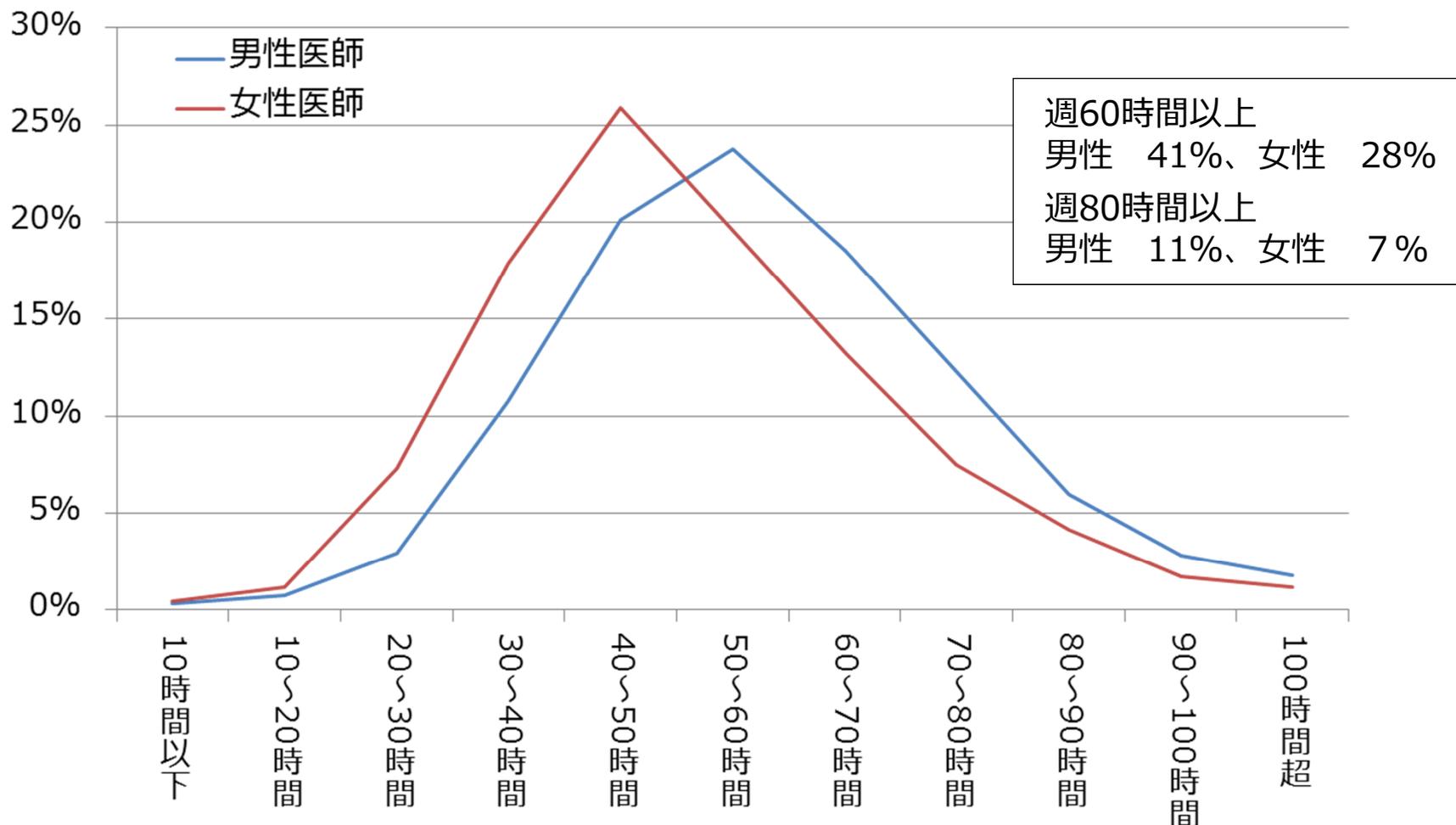
調査対象

- ◆ 全国の医療施設に勤務する医師（病床規模等により層化無作為抽出した医療施設に勤務する医師）を対象（また、医療施設に対しても調査を実施）
- ◆ 調査実施日：平成28年12月8日（木）～14日（水）
- ◆ 調査対象数：全国の医師約10万人
- ◆ 回収数：15,677件
 - ✓男性医師11,570（74.6%）、女性医師3,511（22.7%）
 - ✓常勤医師10,738（69.4%）、非常勤医師1,949（12.6%）
 - ✓病院・診療所の開設者2,501（16.2%）

病院常勤勤務医の週当たり勤務時間の分布

○ 病院常勤勤務医の勤務時間（診療時間＋診療外時間＋当直の待機時間）は、男性は41%、女性は28%の医師が週60時間以上である。

※ 本資料では、当直の待機時間は勤務時間に含め、オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。なお、当直の待機時間には、労働基準法上の労働時間に該当するものと該当しないものの両方が含まれていると考えられる。



「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

病院常勤勤務医の週当たり勤務時間

○ 病院常勤勤務医の勤務時間（診療時間＋診療外時間＋当直の待機時間）については、男性は年代が上がるにつれて減少する一方、女性は二峰性の分布となる。

※ 本資料では、当直の待機時間は勤務時間に含め、オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。なお、当直の待機時間には、労働基準法上の労働時間に該当するものと該当しないものの両方が含まれていると考えられる。

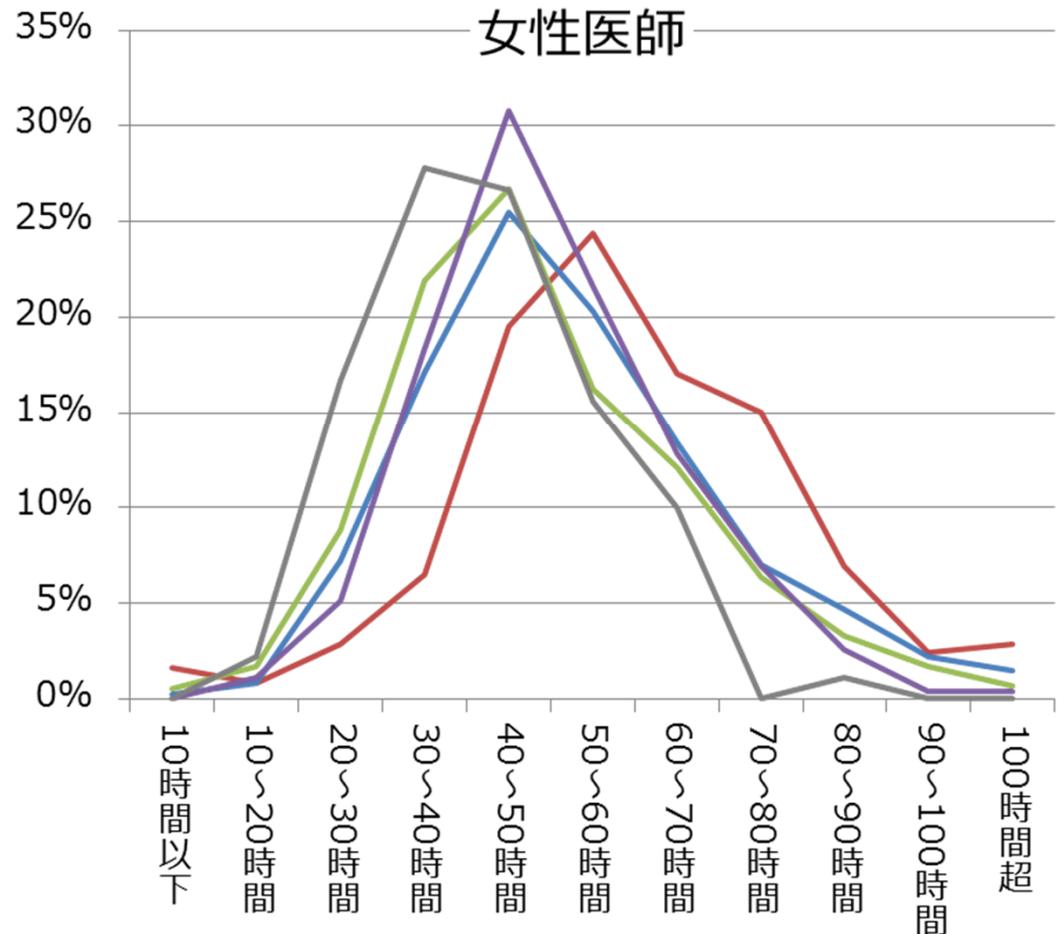
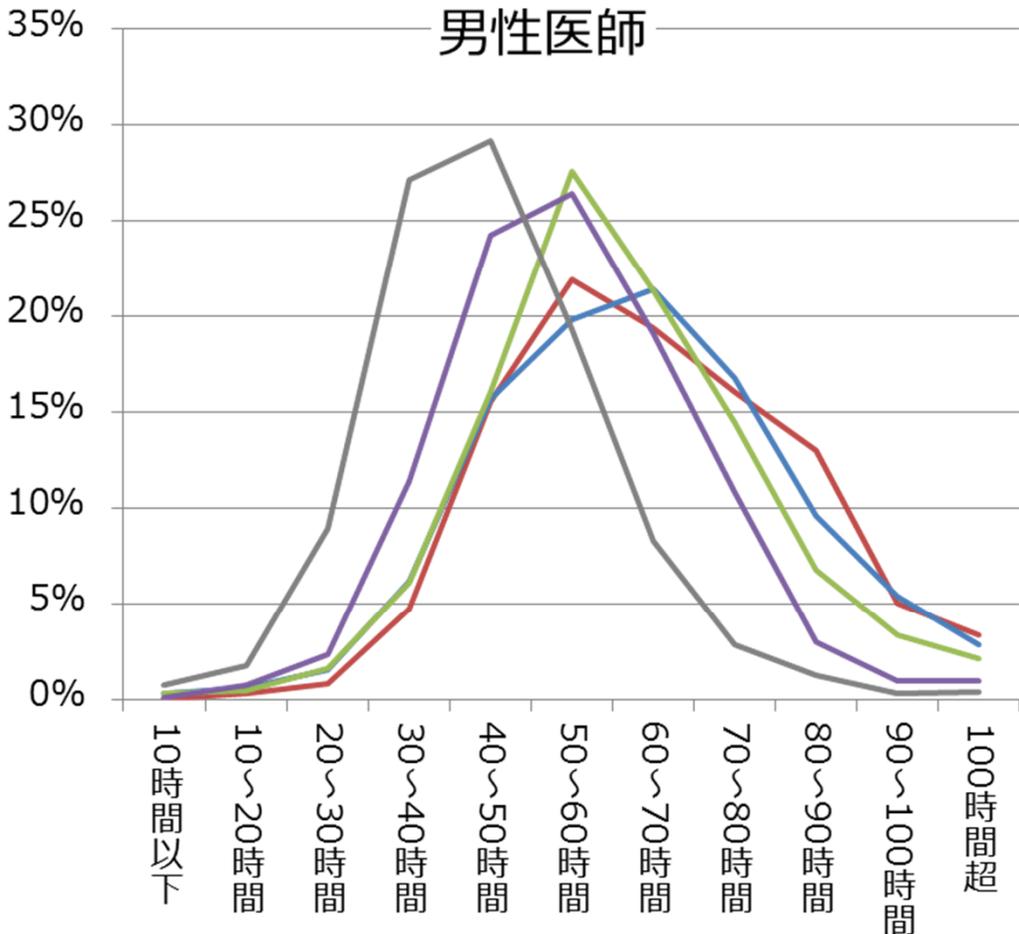
週当たり勤務時間	男性医師	女性医師
20代	64時間59分	59時間12分
30代	63時間51分	52時間13分
40代	61時間06分	49時間20分
50代	55時間28分	50時間05分
60代以上	45時間17分	42時間49分
全年代平均	57時間59分	51時間32分

「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

病院常勤勤務医の週当たり勤務時間 年代別分布

○ 男性医師は、20代は「50～60時間」にピークがあり、30代で「60～70時間」にピークが上がり、その後、徐々にピークが下がる。女性医師は、20代は「50～60時間」にピークがあり、30代～50代でピークがいったん下がり、60代でさらにピークが下がる。

— 20代 — 30代 — 40代 — 50代 — 60代以上

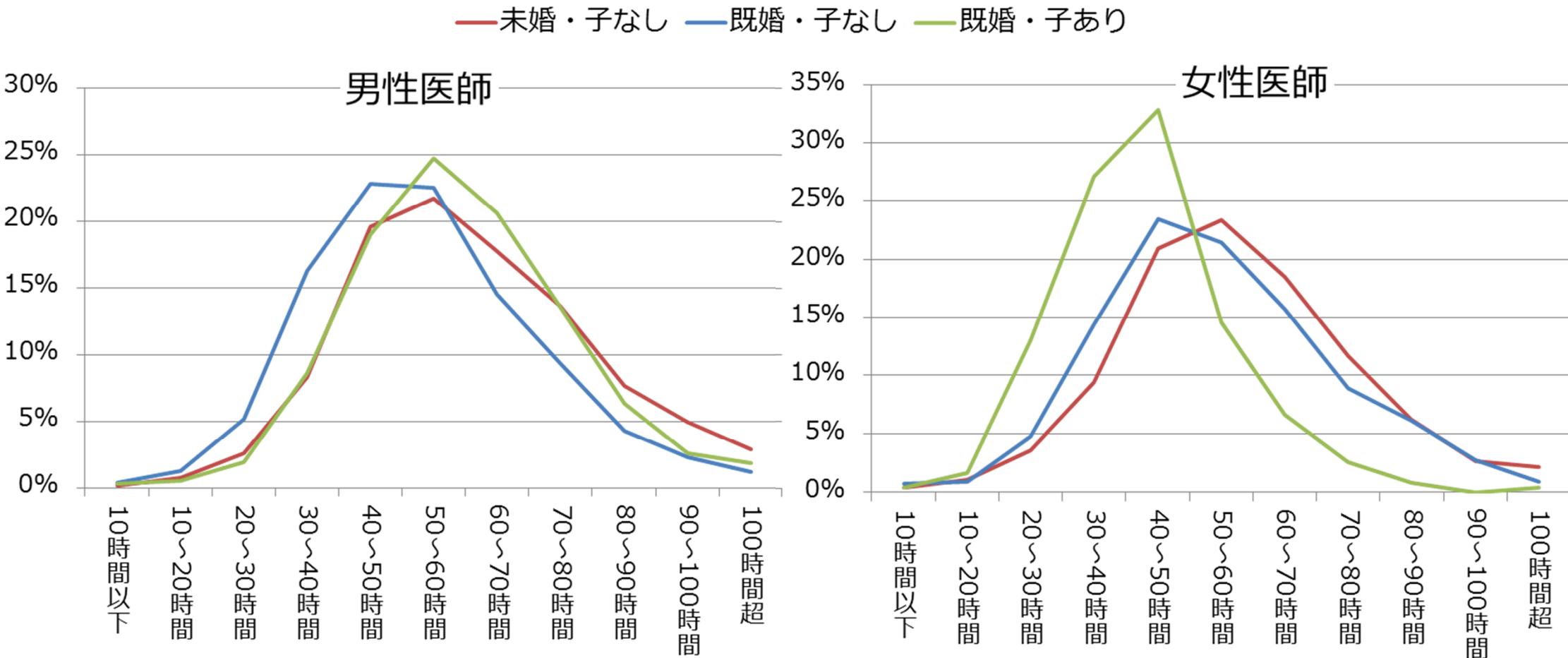


※ 本資料では、当直の待機時間は勤務時間を含め、オンコールの待機時間は勤務時間から除外した（勤務時間＝診療時間＋診療外時間＋当直の待機時間）。なお、当直の待機時間には、労働基準法上の労働時間に該当するものと該当しないものの両方が含まれていると考えられる。

「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

病院常勤勤務医の週当たり勤務時間 家族構成別

○ 子どもがいる場合は、いない場合と比較して、既婚の女性の常勤勤務医は勤務時間（診療時間＋診療外時間＋当直の待機時間）が短くなる傾向がある一方、既婚の男性の常勤勤務医は勤務時間が長くなる傾向がある。

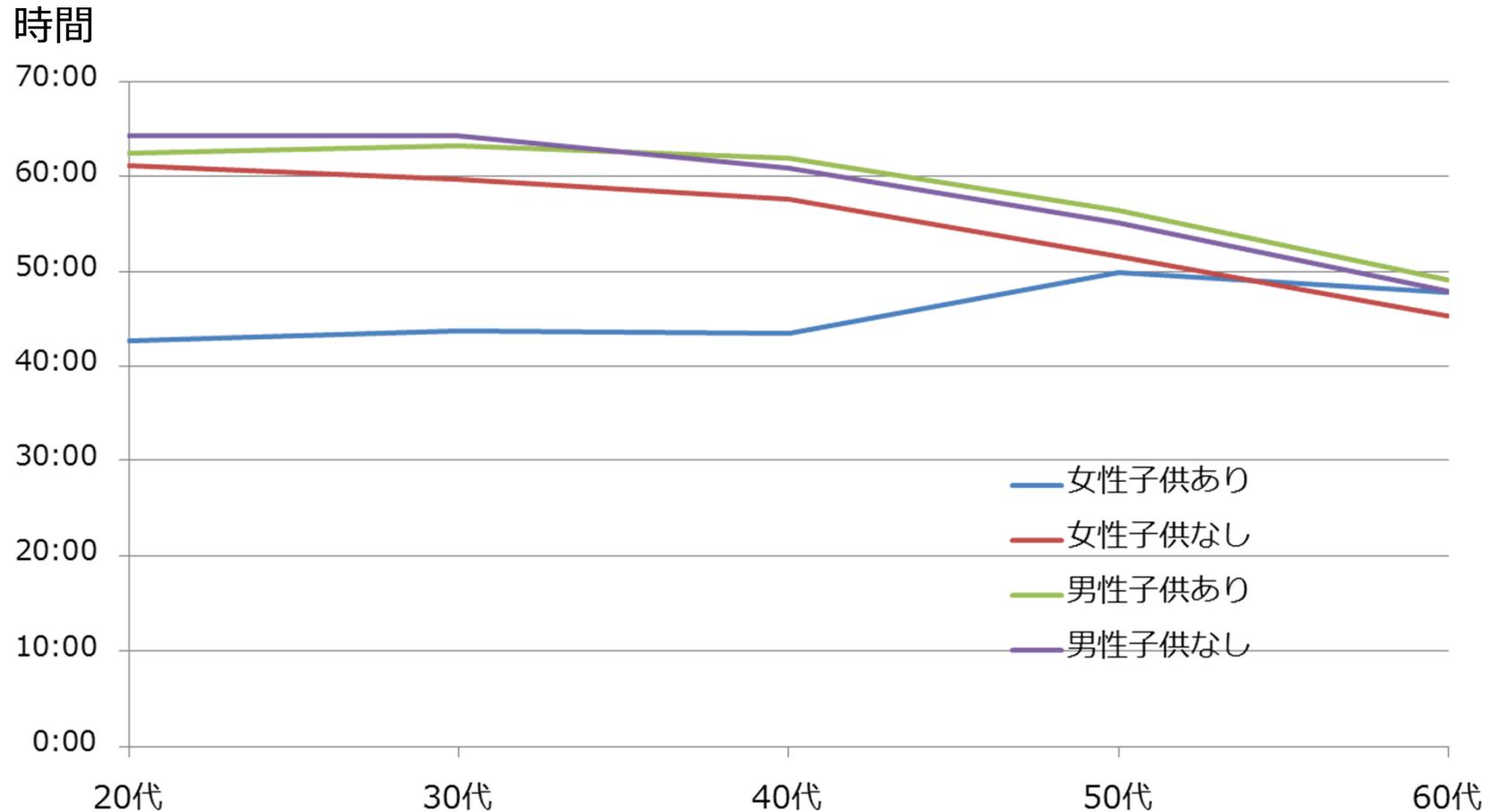


※ 本資料では、当直の待機時間は勤務時間を含め、オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。なお、当直の待機時間には、労働基準法上の労働時間に該当するものと該当しないものの両方が含まれていると考えられる。

「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

性別・子供の有無別の年代別週当たり勤務時間

- 20代～40代の子供のいる女性医師の勤務時間は他と比較して短いですが、50代以降はその他の区分と同程度の勤務時間となる。
- 子供のいる女性は、50代から勤務時間が増加するが、その他の区分は、年代が上がるにつれ勤務時間は短くなる。



※ 病院勤務の常勤医師のみ

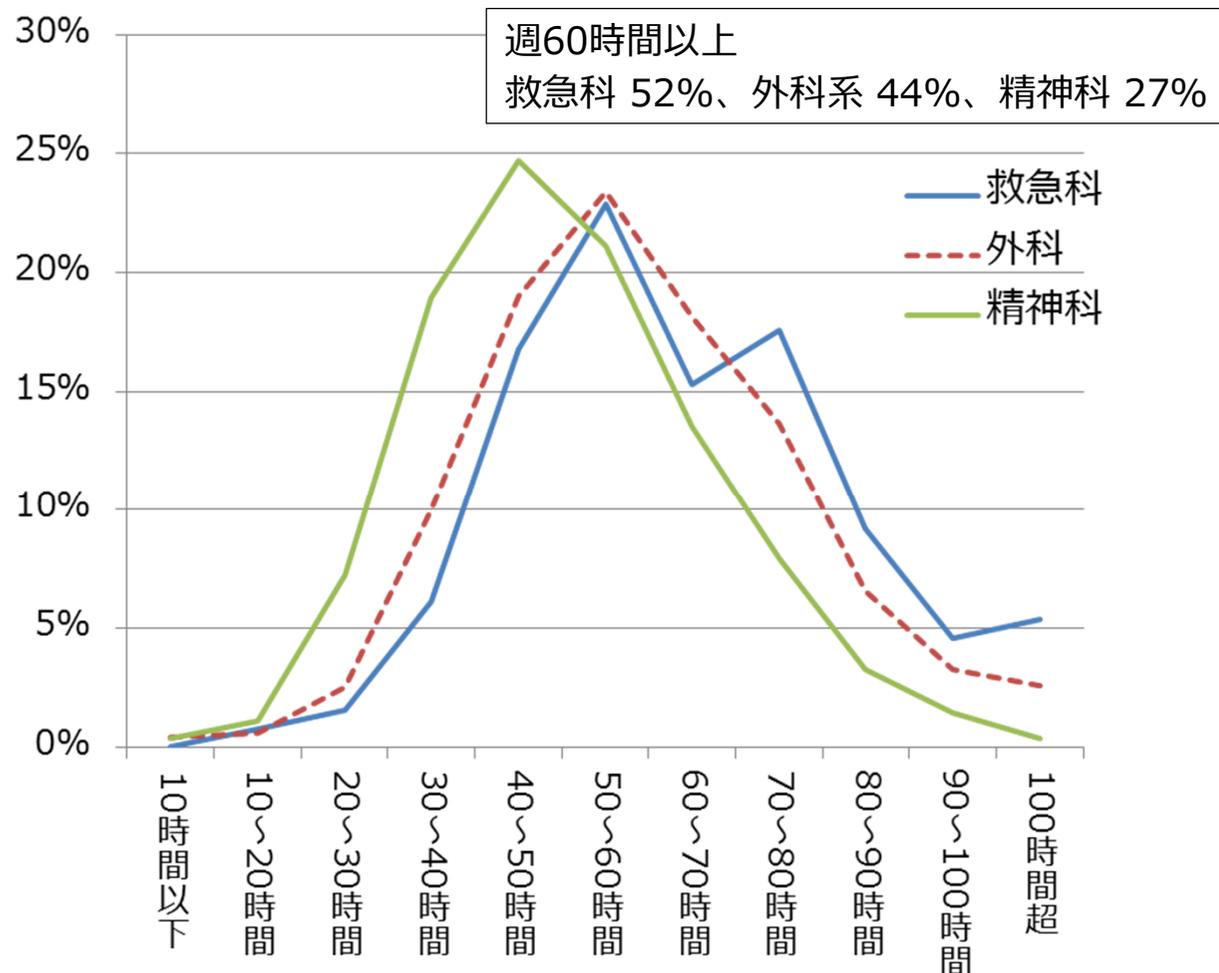
※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究・自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。実際に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間にあたる。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと）。

※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

病院常勤勤務医の診療科別の週当たり勤務時間

○ 病院常勤勤務医の週当たり勤務時間（診療＋診療外＋当直の待機時間）が60時間以上の割合は、平均の勤務時間が相対的に長い救急科・外科系はそれぞれ52%・44%、平均の勤務時間が相対的に短い精神科であっても27%。

週当たり勤務時間	病院常勤勤務医
内科系	56時間16分
外科系	59時間28分
産婦人科	59時間22分
小児科	56時間49分
救急科	63時間54分
麻酔科	53時間21分
精神科	50時間45分
放射線科	52時間36分
臨床研修医	60時間55分
全診療科平均	56時間28分

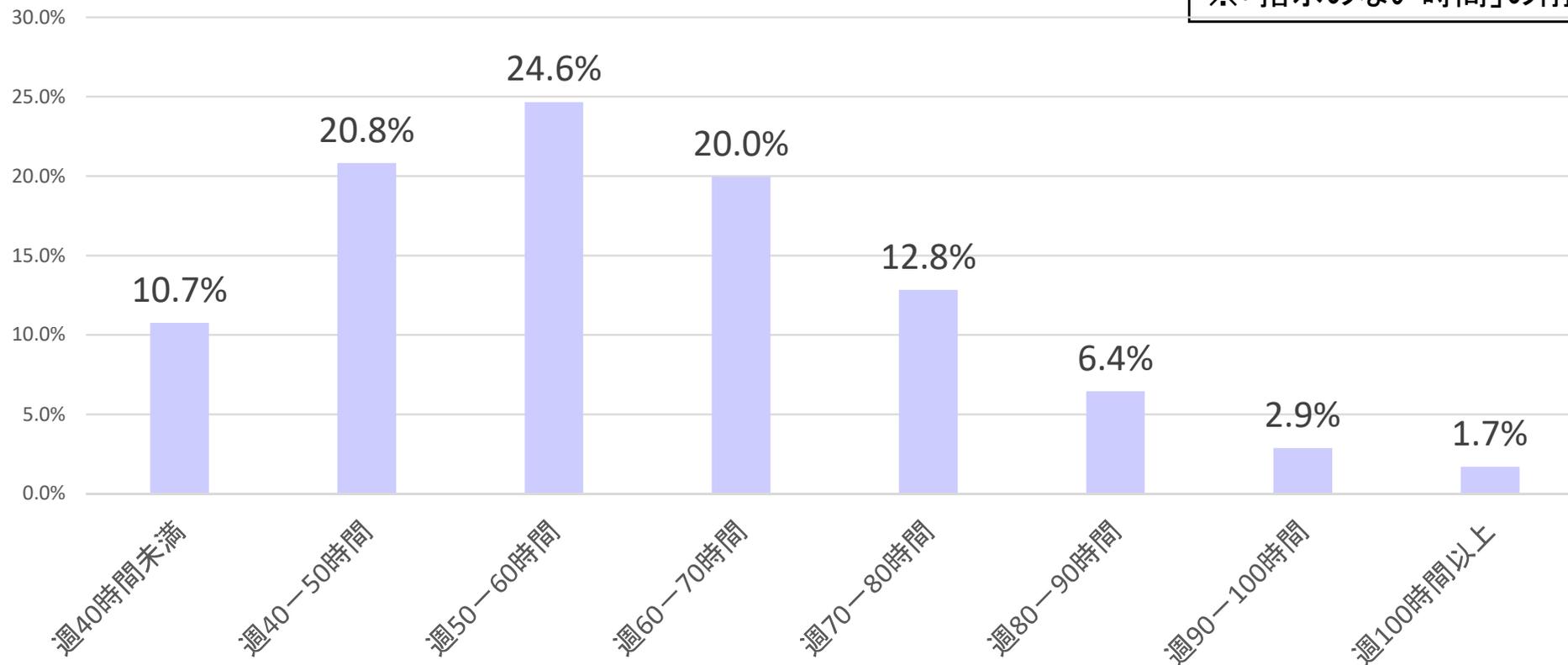


※ 本資料では、当直の待機時間は勤務時間に含め、オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。なお、当直の待機時間には、労働基準法上の労働時間に該当するものと該当しないものの両方が含まれていると考えられる。

「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

週勤務時間の区分別割合(三次救急病院、救急車を1,000台以上受け入れている二次救急病院)

※「指示のない時間」の削減後



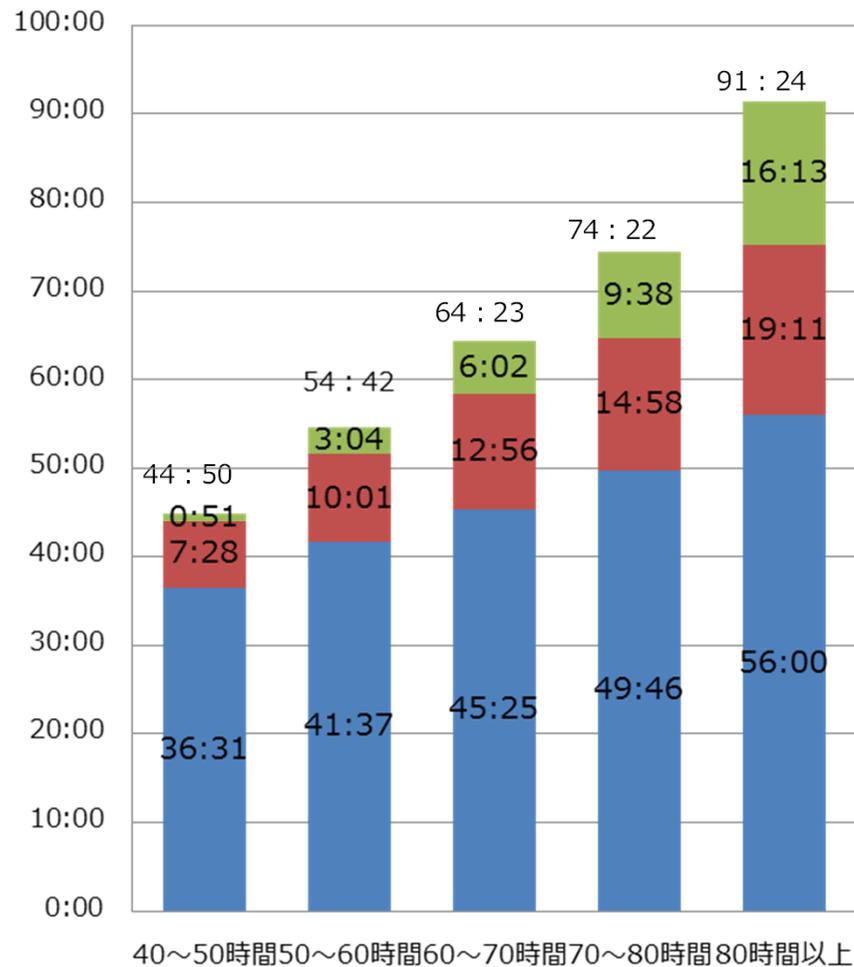
※1 平成29年度厚生労働行政推進調査事業費「病院勤務医の勤務実態に関する調査研究」研究班)の集計結果から、「診療外時間」(教育、研究、学習、研修等)における上司等からの指示(黙示的な指示を含む。)がない時間(調査票に「指示無」を記入)が4.4%であることを踏まえ、「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」における個票の診療外時間より「指示のない時間」を削減した。

※2 三次救急病院、二次救急病院、救急車受入れ台数については平成29年病床機能報告を用いた。

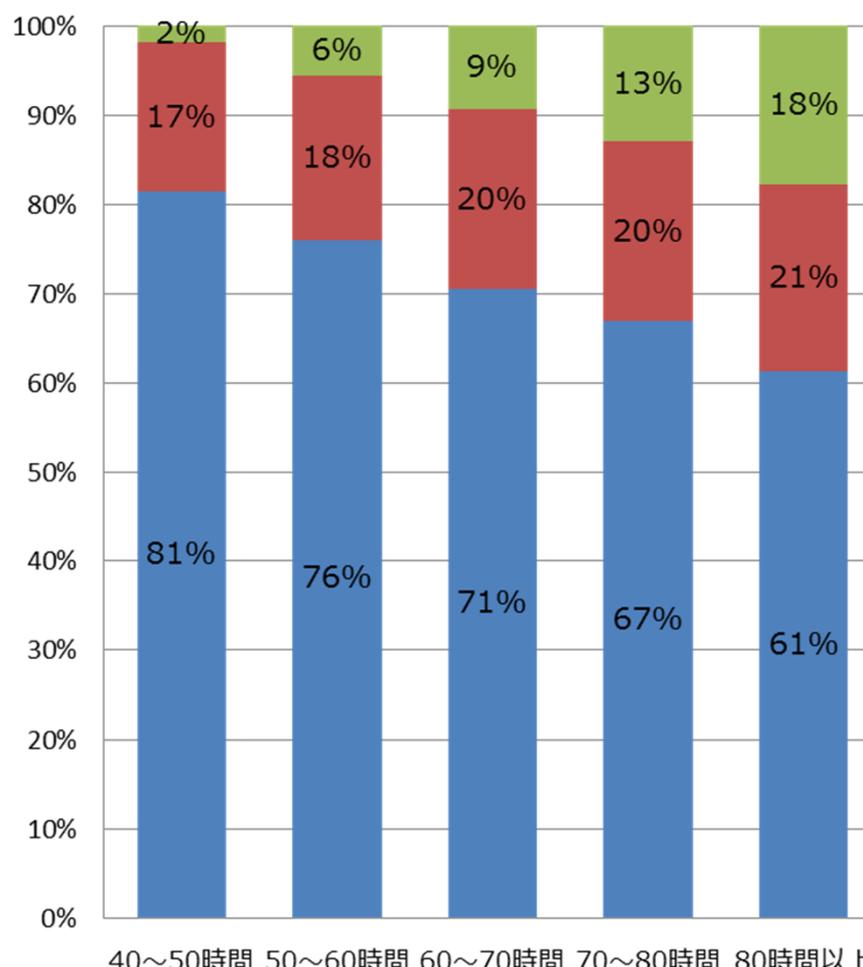
週当たり勤務時間40時間以上の病院常勤医師の勤務時間の内訳

○勤務時間が長くなると診療時間、診療外時間、待機時間のいずれも長くなるが、待機時間の占める割合が大きくなる。

時間



割合



■ 診療時間 ■ 診療外時間 ■ 待機時間

■ 診療時間 ■ 診療外時間 ■ 待機時間

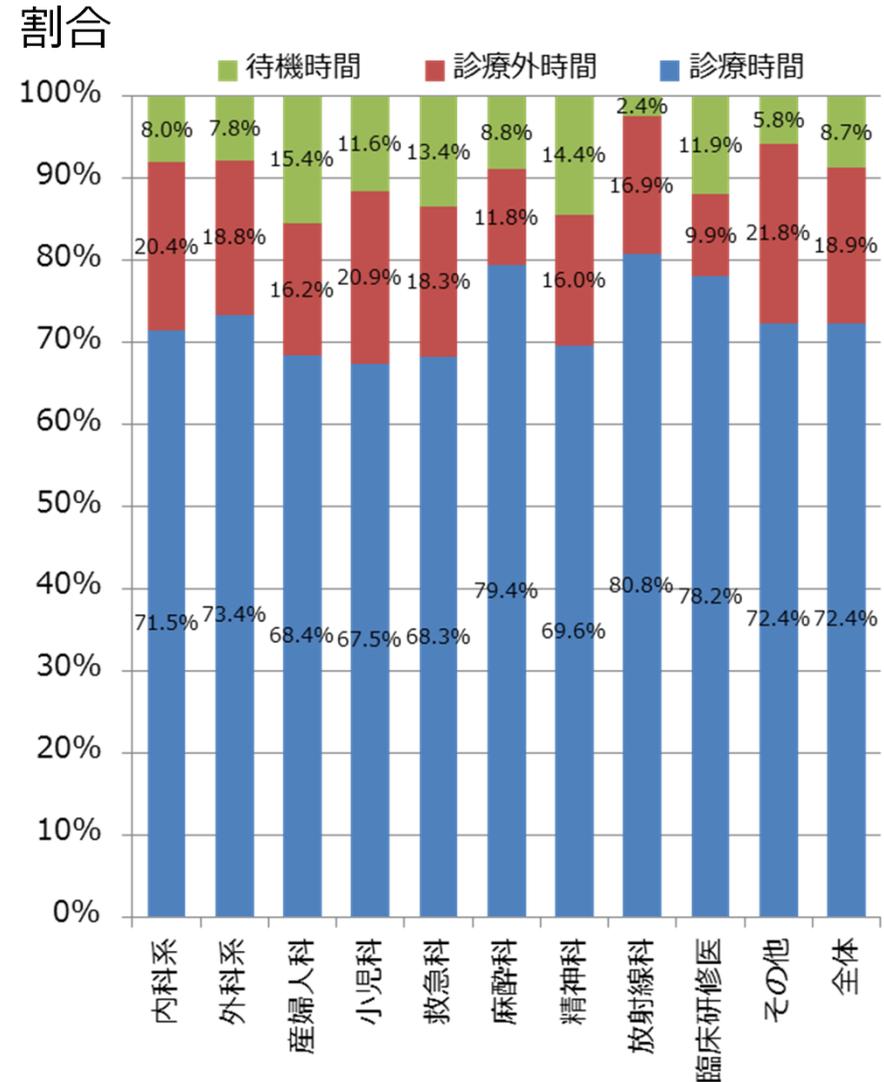
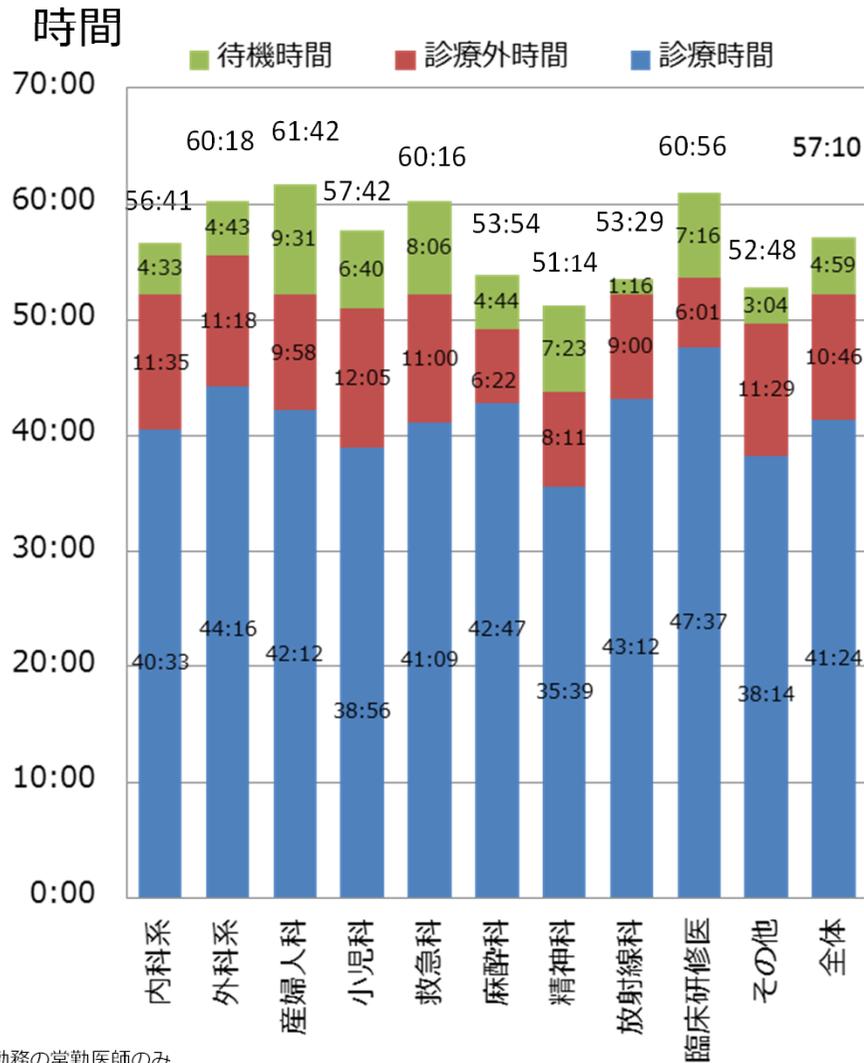
※ 病院勤務の常勤医師のみ

※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究・自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。実際に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間にあたる。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと）。

※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

診療科別病院常勤医師の週当たり勤務時間の内訳

- 勤務時間は診療科によって差がある。
- 診療外時間と待機時間の合計が、いずれの診療科においても週10時間以上である。



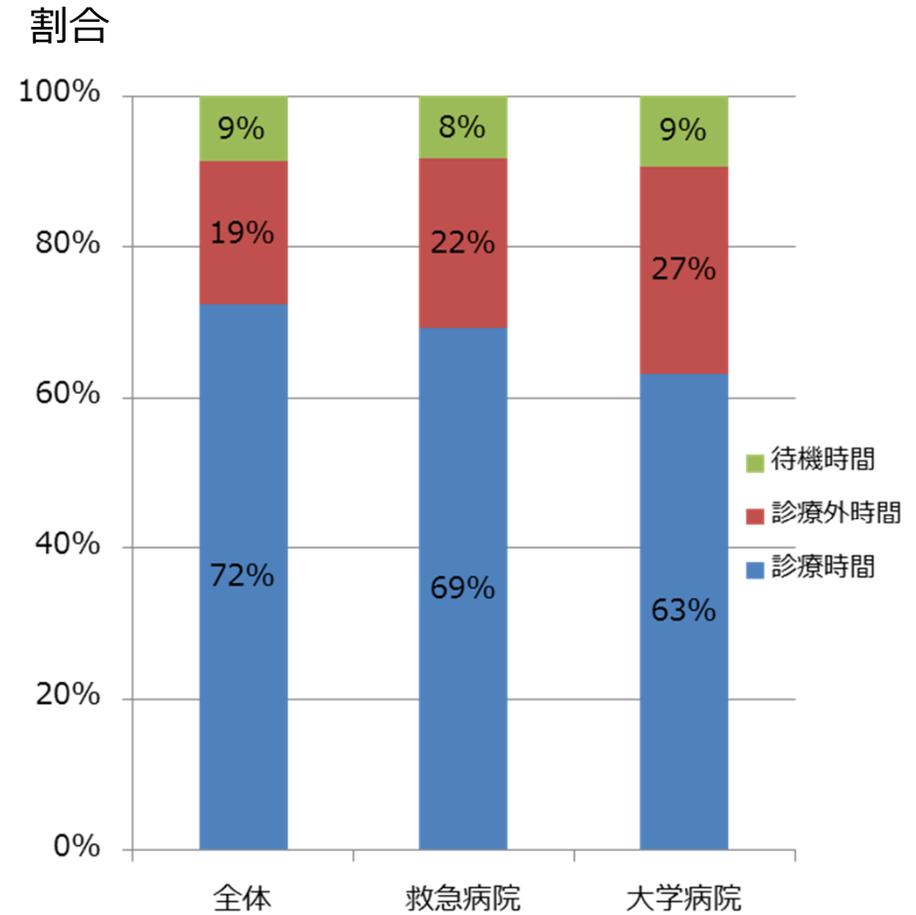
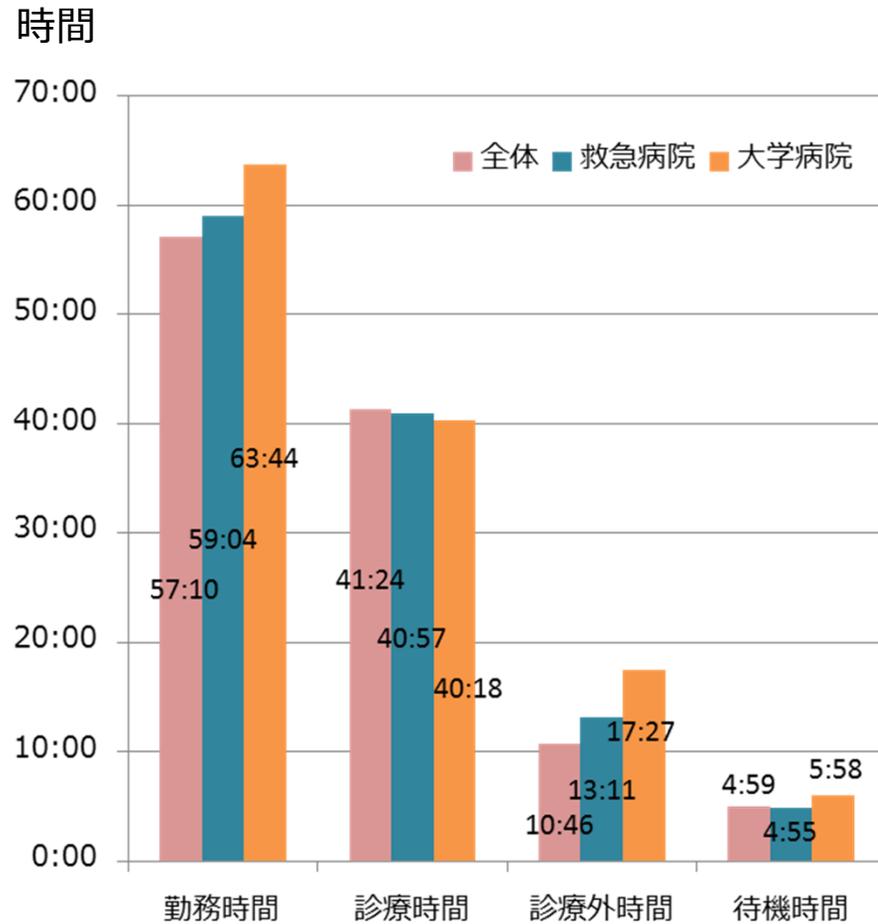
※ 病院勤務の常勤医師のみ

※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究・自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。実際に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間にあたる。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと）。

※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

病院常勤医師の医療機関種類別の週当たり勤務時間

- 週当たり勤務時間は、大学病院が約64時間と長い。
- 診療時間・待機時間は、医療機関種類別によって大きな差はないが、大学病院において診療外時間が約17時間半と特に長く、勤務時間に占める割合も約27%と高い。



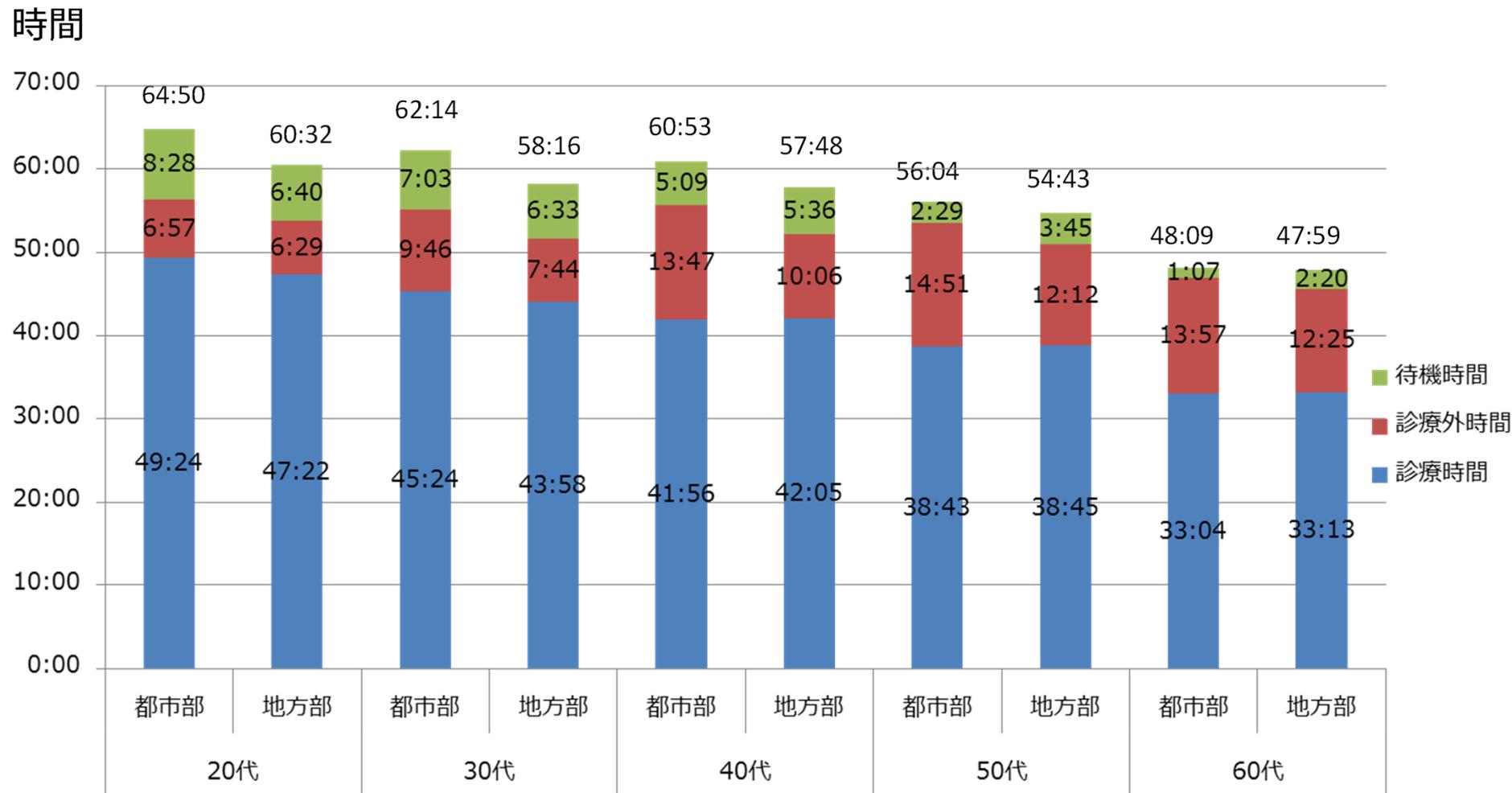
※ 病院勤務の常勤医師のみ ※ 救急病院は、救急指定病院、2次救急医療施設、救命救急センター（3次） ※ 大学病院は、施設名に「大学」の文字が含まれる病院について集計

※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究・自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。実際に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間にあたる。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと）。

※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

都市部・地方部別・年代別の病院常勤医師の週当たり勤務時間

○都市部と地方部とでは、週当たり勤務時間は地方部の方が少ない傾向にある。



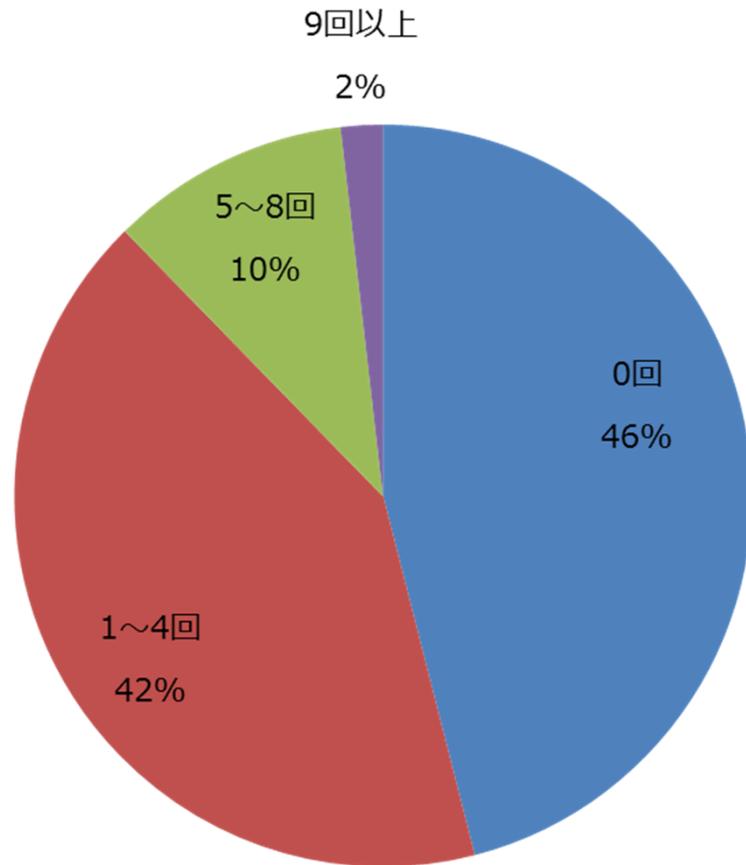
※ 病院勤務の常勤医師のみ ※ 都市部は、東京都23区、政令指定都市、県庁所在地とした。地方部は、都市部以外とした。

※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究・自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。実際に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間にあたる。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと）。

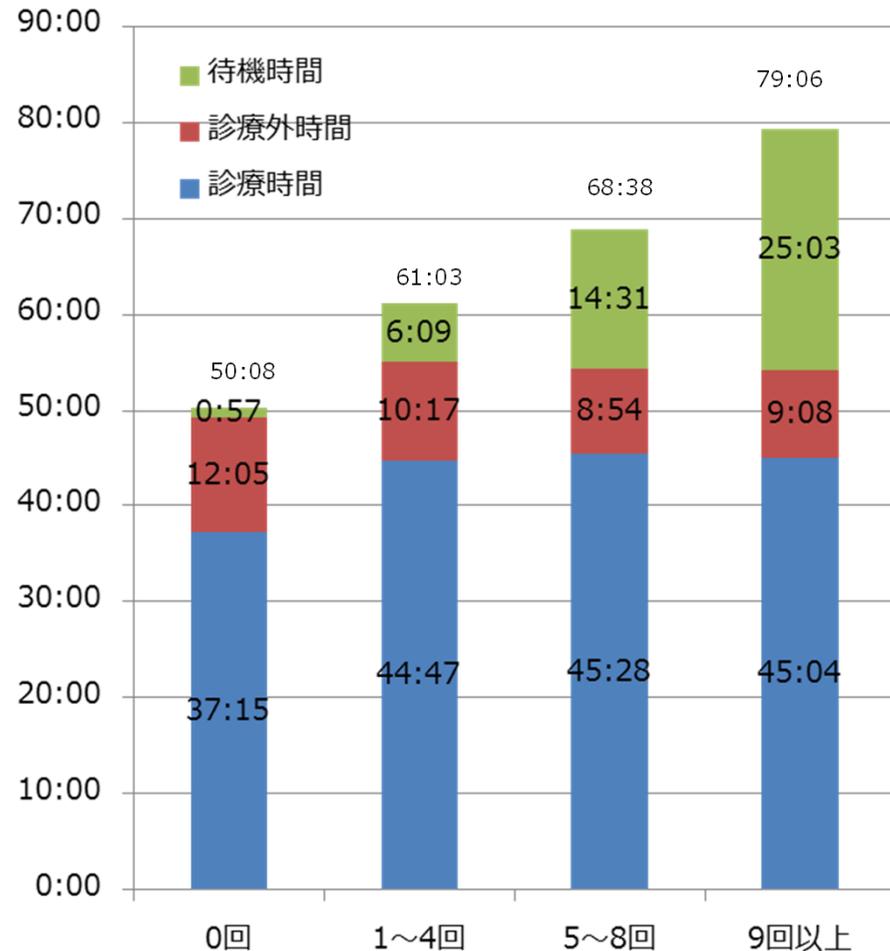
※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

病院常勤医師の月当たり当直回数の割合

- 月当たり当直回数が0回の医師は46%、1～4回は42%、5～8回は10%である。
- 当直回数が増加すると、診療時間と診療外時間には大きな変化はないが、待機時間が顕著に増加する。



時間



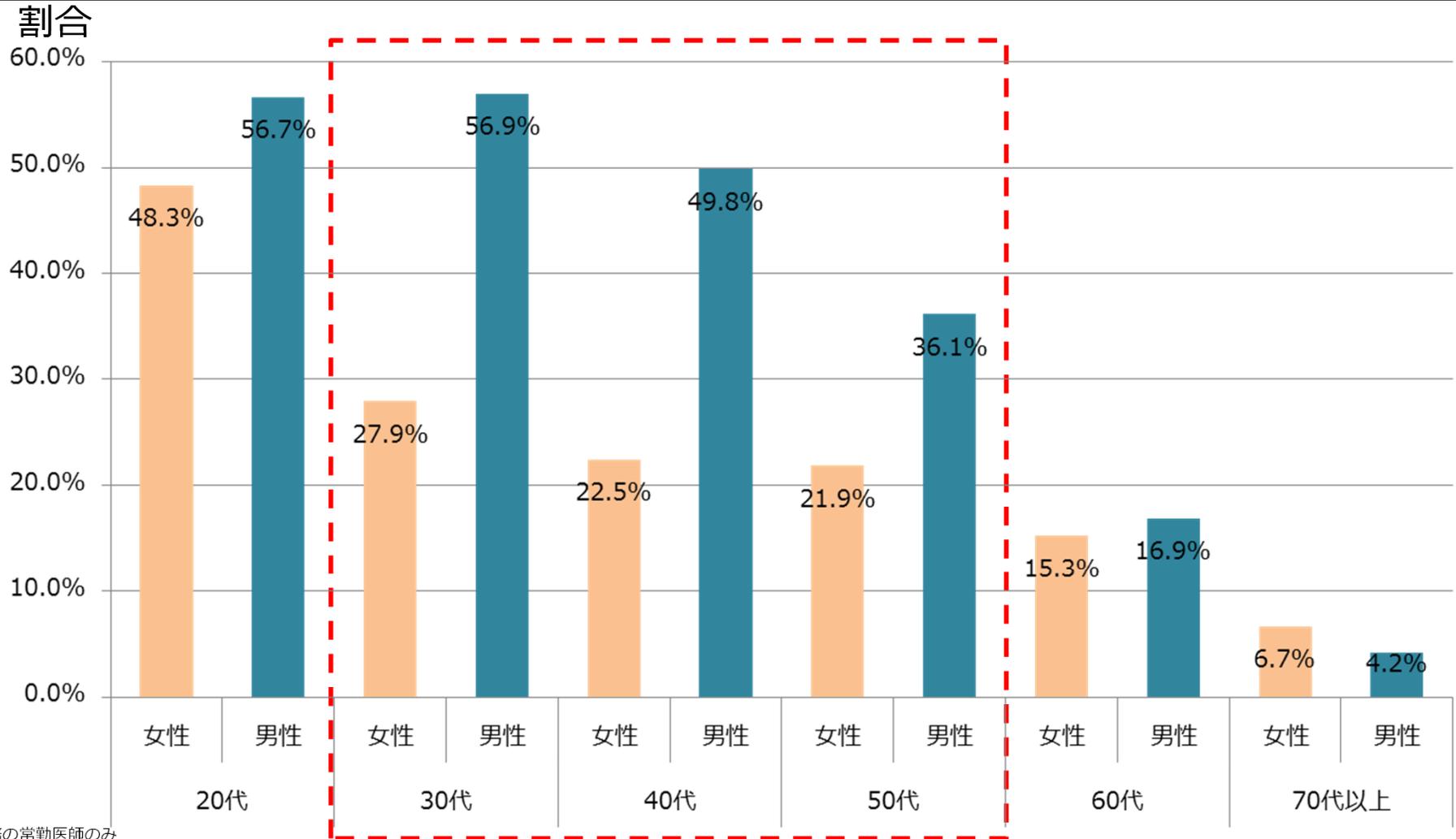
※ 病院勤務の常勤医師のみ

※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究・自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。実際に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間にあたる。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと）。

※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

年代別、男女別の週当たり勤務時間60時間以上の病院常勤医師の割合

- いずれの年代においても男性の割合が女性よりも多い。
- 20代では、週当たり勤務時間60時間以上の割合は、男女で大きな差は見られないが、30代～50代の男女では差が大きく、60代以降では差が小さくなる。



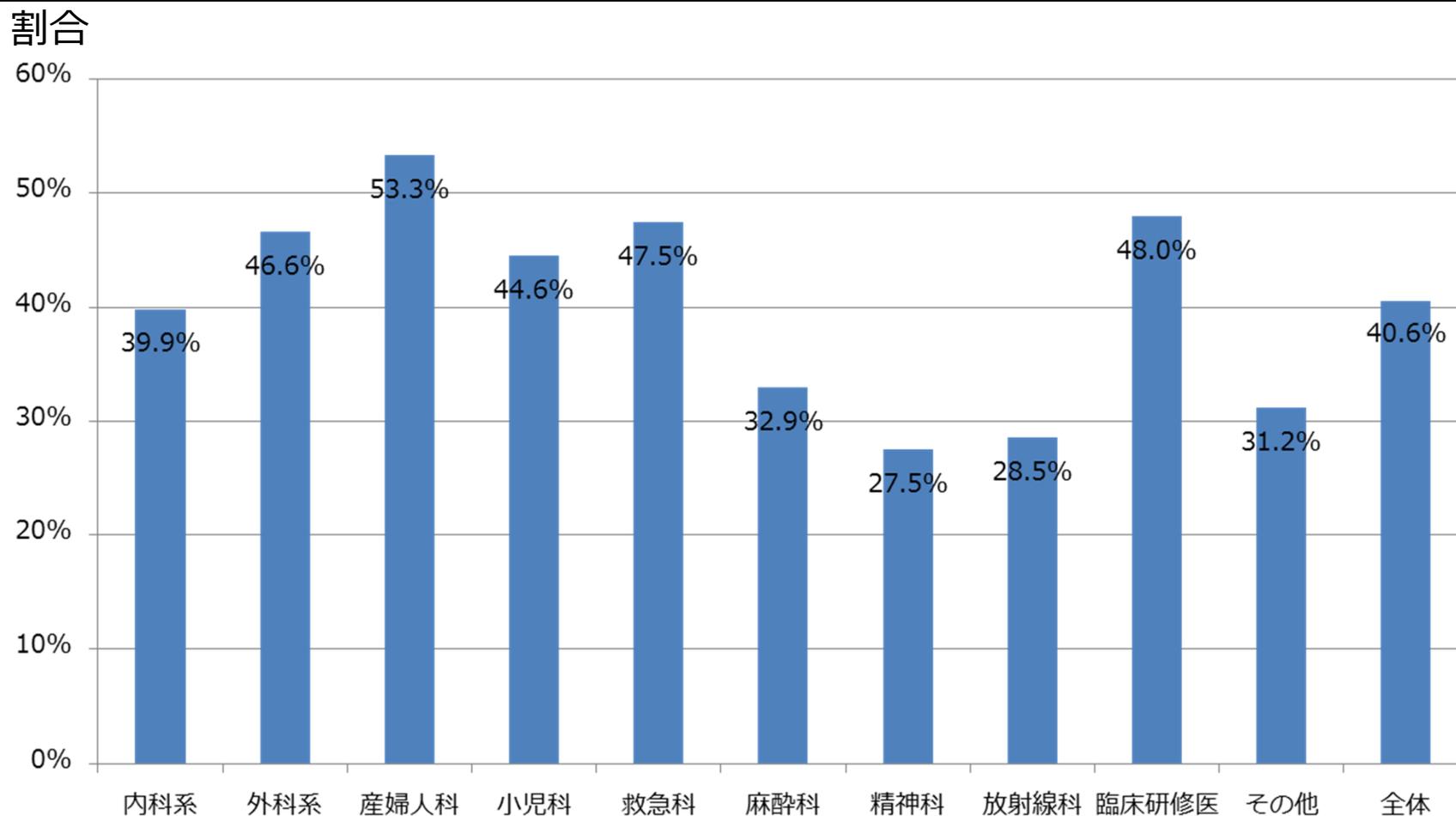
※ 病院勤務の常勤医師のみ

※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究・自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。実際に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間にあたる。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと）。

※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

週当たり勤務時間60時間以上の病院常勤医師の診療科別割合

- 診療科別週当たり勤務時間60時間以上の割合で見ると、診療科間で2倍近くの差が生じる。
- 診療科別週当たり勤務時間60時間以上の割合は、産婦人科で約53%、臨床研修医48%、救急科約48%、外科系約47%と半数程度である。



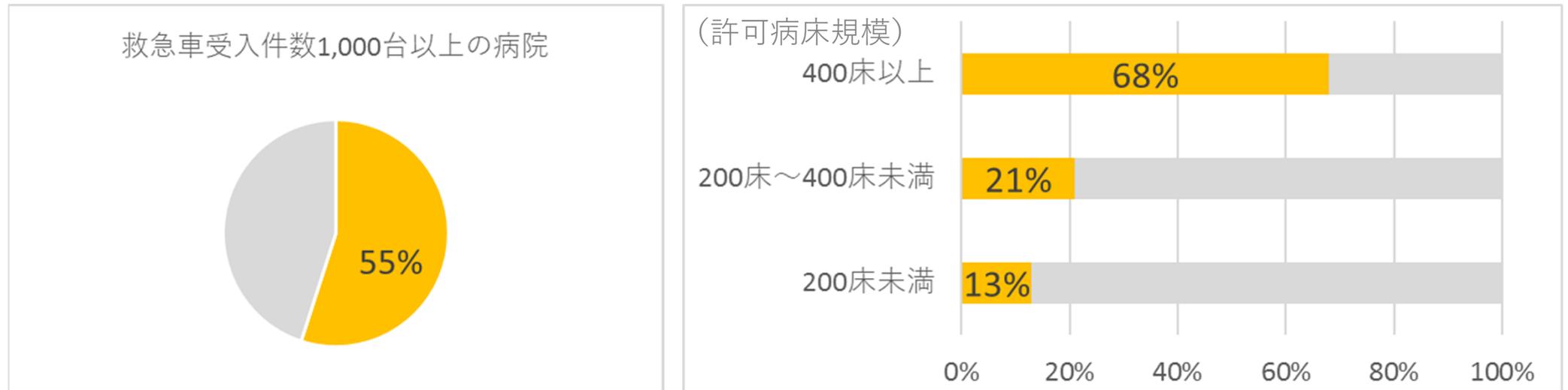
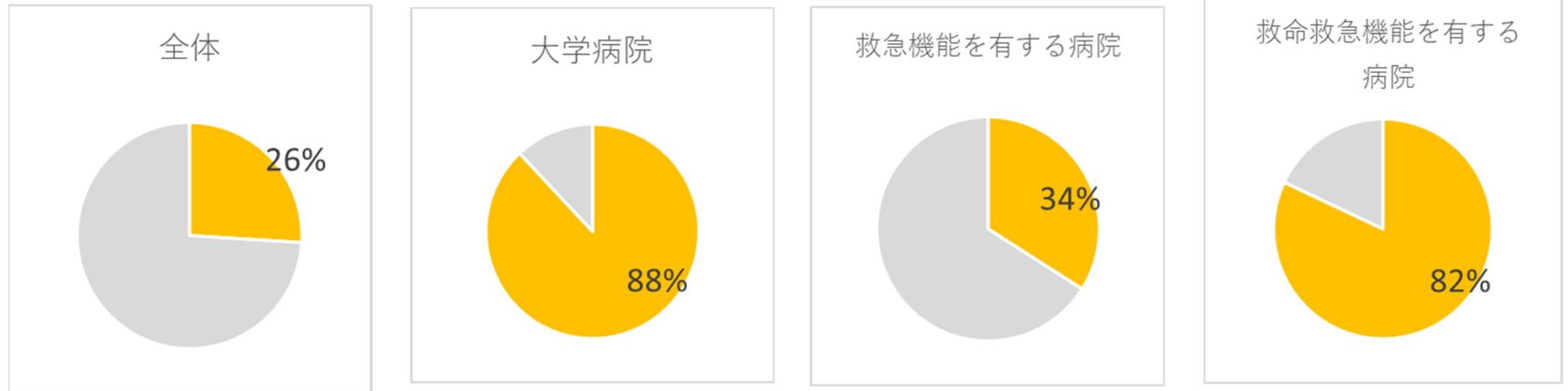
※ 病院勤務の常勤医師のみ

※ 診療時間：外来診療、入院診療、在宅診療に従事した時間。 診療外時間：教育、研究・自己研修、会議・管理業務等に従事した時間。 待機時間：当直の時間（通常の勤務時間とは別に、院内に待機して応急患者に対して診療等の対応を行う時間。実際に患者に対して診療等の対応を行った時間は診療時間にあたる。）のうち診療時間及び診療外時間以外の時間。 勤務時間：診療時間、診療外時間、待機時間の合計（オンコールの待機時間は勤務時間から除外した。オンコールは、通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと）。

※ 「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」（平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班）結果を基に医政局医事課で作成

地域医療確保暫定特例水準(案)を超える働き方の医師がいる病院

週勤務時間が80時間を超える者がいる病院の割合

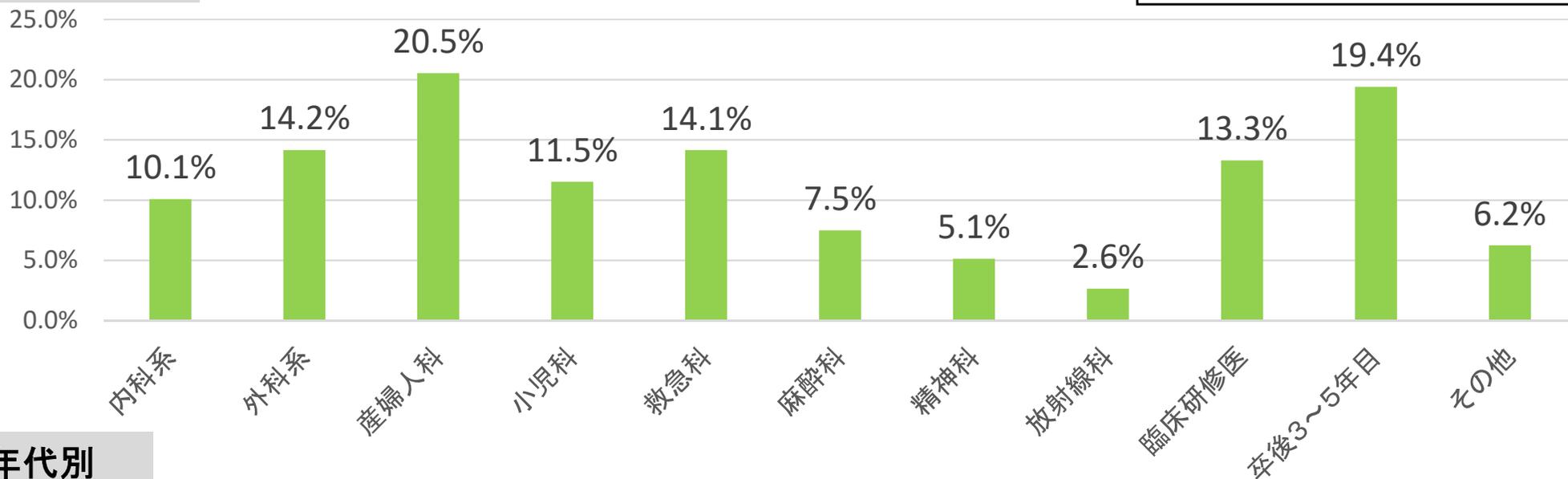


※「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」(平成28年度厚生労働科学特別研究「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究」研究班)結果をもとに医政局医療経営支援課で作成。病院勤務の常勤医師のみ。勤務時間は「診療時間」「診療外時間」「待機時間」の合計でありオンコール(通常の勤務時間とは別に、院外に待機して応急患者に対して診療等の対応を行うこと)の待機時間は除外。医師が回答した勤務時間数であり、回答時間数すべてが労働時間であるとは限らない。救急機能とは、救急告示・二次救急・救命救急のいずれかに該当すること。

週勤務時間が精査後の年上限ラインを超える医師の割合

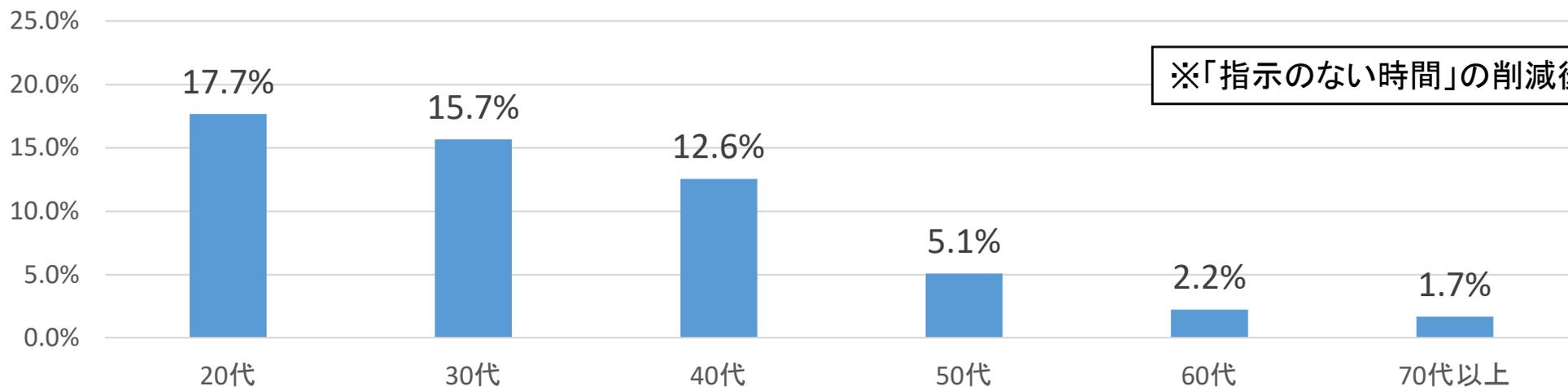
1. 診療科別

※「指示のない時間」の削減後



2. 年代別

※「指示のない時間」の削減後



※1 平成29年度厚生労働行政推進調査事業費「病院勤務医の勤務実態に関する調査研究」研究班)の集計結果から、「診療外時間」(教育、研究、学習、研修等)における上司等からの指示(黙示的な指示を含む。)がない時間(調査票に「指示無」を記入)が4.4%であることを踏まえ、「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査」における個票の診療外時間より「指示のない時間」を削減した。

※2 「卒後3～5年目」に含まれる医師については、「臨床研修医」以外の各診療科に含まれる医師と重複。